

消防年報

令和4年刊行

川越地区消防局

は　じ　め　に

この年報は、川越地区消防局の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この消防年報によって本消防局の現状を認識し、深くご理解いただければ幸いです。

なお、各表について、特記してあるものを除き、年中における消防業務を収録したものであります。

令和4年6月

川越地区消防局

時代のつらさ（好台地）
心なる緑と証なる花
支えあつた
火災と水害（好台地）
町の暮（好台地）
歴史の重み
期待と抱い
纏と下（好台地）
うけつた者
悔のなき青春（好台地）
風切るサイレン（好台地）
重と桜の旗はゆく
いふ消防ばら
筒先を大空へ
大空へ（好台地）
日常に頼るた
智力と科学
結ぶ組織は自治の文化
関根 暁（一作詩）
寺島 尚方（作曲）
川越 地三（消防組合消防歌）
虹のマーチ

虹のマーチ
(川越地区消防組合消防歌)

一彦 榮尚 根島 関寺 作詞
作曲



目 次

沿 革

川越地区消防組合の沿革	1～11
-------------------	------

管内情勢

川越市	12
川島町	13
消防機関配置図	14～15

総 務

人口等の推移	16
消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合	16
川越地区消防組合機構図	17
消防局・消防署事務分掌	18～20
職員の配置状況	21
消防自動車の配置状況	21
基準消防力と現有消防力の比較	22
川越市・川島町予算(一般会計)消防組合予算(当初)	23
消防組合予算(当初)	23～24
消防組合予算性質別内訳(当初)	24
消防庁舎の現況	25
令和3年度主要な施設等の整備	25
職員定数・実員の推移	26
職員の年齢	27
職員の勤続年数	27
職員の採用、退職等の状況	28
職員の教養実施状況	28
消防音楽隊	29
消防相互応援協定等の状況	30～31

予 防

法令に基づく各種届出状況	32
防火管理者選任届出事業所数	32
月別建築物同意処理件数	32
消防用設備等設置届出検査処理状況	33
建築物同意状況	34
防火対象物(政令第10条以上)を有する事業所数	35
防火対象物立入検査実施状況	36
防火管理資格取得者数及び再講習状況	37
広報活動の状況	37
危険物関係処理状況	38
数量別危険物製造所等施設数	39
類別危険物施設状況	40
危険物事業所・施設数の推移	41
火薬類施設状況	41
火薬類申請届出等状況	41

警 防

所属別消防車両一覧表	42
消防水利の状況	43
警防関係各種届出状況	44
事業所消防訓練派遣状況	44
中高層建築物の状況	45
火災出場の状況	46
その他出場の状況	46
現有消防機器	47

指 令

無線局一覧	48
消防通信系統図	49
通信施設の状況	50
119番受信回数	51
携帯119番受信状況	51
緊急通報システム受信状況	52
病院照会に関する記録	52
気象状況表	53

火 災

令和3年中の火災概要	54
火災の概況	55
火災件数の推移(10年間)	56
火災損害状況の推移(10年間)	57
火災による死傷者の推移(10年間)	58
地区別の出火原因	59
出火原因別火災件数の推移(10年間)	60
出火原因別火災件数	61
原因別火災発生状況	61
月別火災概況	62
月別火災件数	62
建物用途別火災件数	63
時間別火災発生件数	63
曜日別火災発生件数	63

救急・救助

令和3年中の救急・救助の概要	64
救急車の配置及び救急病院配置図	65
救急活動	
救急活動の推移(10年間)	66
月別救急活動の状況	67
事故種別傷病程度別搬送人員	68
事故種別年齢区分別搬送人員	68
署所別救急活動の状況	69
医療機関別搬送人員	70
時間別救急出場件数	70
救命講習実施状況	71
救急講習指導状況	71
救助活動	
事故種別出場件数、活動件数及び救助人員	72
事故種別発生場所別救助人員	72

消防団

消防団分団区域図	73
川越市消防団分団の名称及び受持区域	74
川島町消防団分団の名称及び受持区域	74
消防団員の実員数	75
分団別人口世帯の状況	76
消防団員の勤続年数	77
消防団員の年齢	78
消防団員の報酬等	79
分団別火災出場の状況	80
分団車庫所在地	81
消防自動車性能	82
川越市消防団専用無線設備の状況	83
川島町消防団専用無線設備の状況	84

その他

水防団員の編成(定員)	85
水防倉庫所在地	86
自警消防隊の状況	87

浴

革

川越地区消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

昭和48年

- 4 . 1 川越市と川島町は、消防事務について共同処理することに合意し、規約(議決)により名称を川越地区消防組合と定め、消防の一部事務組合を設立した。

2. 業務開始

昭和48年

- 4 . 1 常備消防にあつては、川越地区消防組合消防本部2課(総務課(庶務係、経理係)、消防課(警防係、予防係、保安係))、1署(川越消防署)、3分署(新宿分署、霞ヶ関分署、高階分署)体制とし、職員の定数165人実員143人をもって業務を開始した。また、非常備消防にあつては、川越市消防団1団本部、12分団体制とし、団員の定数実員とも303人、川島町消防団3分団、6部体制とし、団員の定数実員とも150人をもって業務を開始した。

3. 業務開始後

- 7 . 11 火災予防を徹底するため広報車を霞ヶ関分署、高階分署に配置した。
- 9 . 5 危険物の災害防止と、増加する事務処理の迅速化に対処するため、川越地区危険物安全協会より小型乗用自動車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。
- 10 . 15 川島町区域内の救急業務の迅速化を図るため、川島町役場庁舎の一部の提供を受け、職員8人、救急自動車1台を配置し、川島分遣所を設置した。
- 10 . 22 緊急時の出動体制の確実迅速化を図るため、各分署に対する一斉指令装置を消防署に設置した。
- 10 . 23 埼玉県共済農業協同組合連合会より、救急車1台の寄贈があり、高階分署に配置した。

昭和49年

- 1 . 7 川島町大字平沼858番地1に川島分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建延364.77㎡が完成し、新庁舎に職員14人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置して業務を開始し、管内北部の消防力を充実強化した。
- 3 . 19 中高層建築物に対処するため、32m級はしご付消防ポンプ自動車を川越消防署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、川島分遣所を川越消防署川島分署とし、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、4分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島)体制となる。
- 11 . 21 川越市神明町48番地4に消防本部、消防署の庁舎鉄筋コンクリート造3階建、延1516.70㎡が完成し、11月23日に移転、業務を開始した。

昭和52年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署に通信指令第1係、通信指令第2係を配置した。
- 6 . 29 災害その他現場指揮本部用車両を消防本部に配置した。

昭和54年

- 4 . 5 機構改革により、川越消防署大東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東)体制となる。
- 川越市大字豊田新田20番地1に大東分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建398.80㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

- 7 . 24 災害その他現場への資機材輸送の迅速化を図るため、警防車を川越消防署に配置した。

昭和55年

- 5 . 1 機構改革により、川越消防署の通信指令第1係、通信指令第2係を専従体制とした。

昭和56年

- 4 . 1 機構改革により、総務課に教養係、消防課に施設係及び査察指導係を配置し、総務課3係(庶務係、経理係、教養係)、消防課5係(警防係、施設係、予防係、査察指導係、保安係)となる。
- 9 . 30 葵ライオンズクラブより、広報車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。

昭和57年

- 1 . 29 多様化する災害に対処するため、救助工作車を川越消防署に配置した。
- 2 . 1 通信指令室に消防緊急指令装置を設置した。
- 10 . 20 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 10 . 22 地震対策の啓蒙に役立てるため、地震体験車(川越なまず号)を川島分署に配置した。
- 12 . 21 管内西部の工業地化が進み、化学火災に対処するため、化学車を大東分署に配置した。

昭和58年

- 1 . 14 通信指令室の総合気象観測装置を更新した。
- 2 . 8 通信指令室に救急専用無線局を設置した。
- 3 . 25 消防署に消防救助技術の向上を図るため、訓練塔(B塔)を設置した。
- 4 . 1 従来の川越消防署通信指令第1係、通信指令第2係を指令第1係、指令第2係とした。
- 12 . 6 エアーマスク用ボンベの空気充填の迅速化を図るため、川越消防署に空気充填庫(7.74㎡)を増築整備した。

昭和59年

- 2 . 28 高層建築物の増加に対処するため、46m級はしご付消防自動車を川越消防署に配置した。
- 3 . 15 消防救助技術訓練施設整備のため、川越消防署に訓練塔(A塔)を増設した。
- 3 . 25 新宿分署に車庫77.49㎡を増築し、32m級はしご付消防ポンプ自動車の配置換えをした。

昭和61年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、6分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東、東)体制となる。
- 7 . 1 川越市大字久下戸3528番地1に東分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建451.05㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内東部の消防力を充実強化した。

昭和62年

- 8 . 21 日本消防協会より、広報車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 8 . 28 川越消防署にマイクロバス(29人乗り)を配置した。

平成 元年

- 4 . 1 機構改革により、調査指導第1係、調査指導第2係を川越消防署に配置し、火災調査業務を専従体制とした。

平成 2年

- 3 . 29 警防車を川越消防署に配置した。

平成 3年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部消防課、川越消防署調査指導係及び指令係を廃止し、消防本部に予防課(予防係、査察指導係、保安係)、警防課(警防係、施設係、調査第1係、調査第2係)、指令課(指令第1係、指令第2係)を配置した。また、川島分署を川島消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、2署(川越、川島)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署に消防課(消防係)を配置し、組織の充実強化を図る。

平成 4年

- 8 . 24 川越地区危険物安全協会より、連絡車1台の寄贈があり、消防本部に配置する。
10 . 5 消防本部増築棟3階建が完成する。

平成 5年

- 3 . 15 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を増築棟の庁舎3階に設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の消防本部警防課調査第1係、調査第2係を調査係とした。また、霞ヶ関分署を川越西消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、4分署(新宿、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署の消防課に庶務係を配置し、組織の充実強化を図る。
5 . 19 救急救命士国家試験に職員1人が合格、本組合第1号の救急救命士が誕生した。
9 . 1 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越西消防署に配置した。
10 . 11 川越地区消防組合発足20周年記念式典を川越市民会館で開催した。
10 . 30 川島消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造2階建1, 136. 02㎡が完成し、竣工式を開催した。

平成 6年

- 3 . 31 川越西消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造3階建1, 490. 08㎡が完成し、救助工作車Ⅱ型1台及び救助資機材一式を配置して、管内西部の消防力を充実強化した。

平成 7年

- 3 . 16 消防救助技術訓練施設整備のため、川島消防署に訓練塔(A塔)を設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の総務課教養係を人事教養係とし、警防課救急係を救急救助係とした。また、警防課施設係を管理係とし総務課へ、調査係を調査第1係、調査第2係とし川越消防署消防課へ配置換えをした。また、消防署の中隊を廃止し、警備隊(14隊)救急隊(6隊)救助隊(2隊)とした。

平成 8年

- 2 . 14 阪神・淡路大震災を契機に、消防水利及び飲料水確保のため、小型動力ポンプ付水そう車を川越消防署に配置した。
高圧ボンベの普及により、空気充填の更なる迅速化を図るために、川島消防署に高圧ガス充填施設(12. 00㎡)を新設整備した。
3 . 29 災害時の応急救護所等に使用するため、エアーテントを川越消防署に配備した。

- 4 . 1 救急高度化推進事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センターの医師による救急救命士法に基づいた指示体制が確立、本格的な救急救命士運用が始まる。
増加する救急要請に対応するため、高階分署の救急隊を専従体制とした。
- 5 . 8 阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県下14消防本部（川越地区消防組合を含む）を中心とした彩の国レスキュー隊が発足した。
- 11 . 25 消防用無線局全国波を導入整備した。

平成 9年

- 3 . 19 彩の国レスキュー隊の発足に伴い、高度救助資器材を積載した救助工作車Ⅲ型を川越消防署に配置した。
- 3 . 21 震災対策用として可搬式小型動力ポンプを各署所に配置した。
- 4 . 1 川越地区消防組合救急高度化推進協議会を設置した。

平成10年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署消防課の調査第1係、調査第2係を第1調査隊、第2調査隊とし川越消防署に配置換えをした。また、大東分署の救急隊を専従体制とした。

平成11年

- 2 . 18 警防車を川越西消防署に配置した。
- 3 . 30 新宿分署新庁舎鉄筋コンクリート造3階建1, 772. 93㎡が完成し、竣工式を開催した。
- 4 . 1 多様化する災害への対応を図るため、救助隊を特別救助隊とし、新宿分署及び川越西消防署に配置した。

平成12年

- 2 . 1 川越消防署の水そう付消防ポンプ自動車を化学車に更新した。
- 3 . 2 はしご付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、東分署の救急隊を専従体制とした。

平成13年

- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、川島消防署の救急隊を専従体制とした。
川越地区消防組合消防音楽隊が設立される。
国際消防救助隊編成協力市町村の該当となり、8人の救助隊員を国際消防救助隊に登録した。
- 12 . 18 警防車を川越消防署に配置した。

平成14年

- 2 . 8 高規格救急車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 規約を変更し、「高圧ガス保安法に基づく事務」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務」及び「火薬類取締法及び施行規則に基づく事務」を新たに共同処理することとした。
複雑多様化する災害へ対応するため、第1指揮担当、第2指揮担当を川越消防署に配置した。
三交代制勤務の試行を指令課において開始する。
- 12 . 21 消防音楽隊発足式・演奏会をやまぶき会館にて開催した。

平成15年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部総務課人事教養係を職員係とし、川越消防署第1調査係、第2調査係を第1調査担当及び第2調査担当とした。
- 11 . 30 川越地区消防組合発足30周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成16年

- 4 . 1 機構改革により、消防本部に救急課(救急管理係、救急指導係)を配置し、従来の警防課を警防係、装備係の2係とした。また、川越西消防署名細分署を新設し、消防本部5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、5分署(新宿、高階、大東、東、名細)体制となる。

川越市大字鯨井589番地1に名細分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建1, 053. 16㎡が完成し、職員35人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

平成17年

- 3 . 31 指令課において実施していた三交代制勤務の試行を終了する。
- 4 . 1 機構改革により、消防本部名称を川越地区消防局に改め、係制を廃止し担当制とした。総務課に消防団担当を配置し、総務担当、消防団担当、財務担当、職員担当、管理担当の5担当とした。また、従来の指令課を指揮統制課とし、川越消防署第1指揮担当、第2指揮担当及び第1調査担当、第2調査担当を第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当とし、指揮統制課に配置換えをした。消防署にあっては、従来の川越消防署を川越北消防署に、東分署を南古谷分署とした。また、新宿分署を川越中央消防署として消防課を配置した。消防局5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となり、組織の充実強化を図る。
- 11 . 21 川越市自治会連合会より、消防活動用自動二輪車(赤バイ)の寄贈があり、消防局に配置した。

平成18年

- 7 . 19 川越地区消防局を含む県内7消防本部の救助隊による機動救助隊、防災航空隊及び県内の医療機関による埼玉DMATで構成される埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)が発足する。
- 10 . 1 全国的な救助体制の強化を図るため、川越地区消防局を含む全国50の消防本部に高度救助隊が創設され、川越中央消防署に配置した。

平成19年

- 2 . 28 後方支援車を川越西消防署名細分署に配置した。

平成20年

- 2 . 1 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を部分更新した。

平成22年

- 2 . 26 埼玉県防災ヘリコプターテレビ映像受信装置を設置した。
- 3 . 25 警防車を川島消防署に配置した。

平成24年

- 3 . 30 東日本大震災を契機に、震災対応体制の充実強化を図るため、震災対応初動資機材を各署所に配置した。

平成25年

- 1 . 15 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署高階分署に配置した。
- 12 . 21 川越地区消防組合設立40周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成26年

- 4 . 1 埼玉県広域災害・救急医療情報システムへのアクセス用タブレット端末を導入し、消防局指揮統制課及び救急自動車に配置した。

平成27年

- 3 . 26 消防力の強化を図るため、消防救急デジタル無線を導入整備した。
- 7 . 24 連絡車を川島消防署に配置した。
- 12 . 18 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署南古谷分署に配置した。

平成28年

- 1 . 27 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署に配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川島消防署に配置した。

平成29年

- 1 . 12 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署大東分署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課に指令管理担当を配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署に配置した。
- 12 . 18 高規格救急車を川越中央消防署に新たに配置した。

平成30年

- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課の第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当を第1指揮担当及び第2指揮担当とし、指揮隊を専従体制とした。また、火災調査に係る担当を火災調査担当とし、専従体制とするともに指揮統制課から予防課へ配置換えをした。また、救急課の救急管理担当及び救急指導担当を救急担当とし、消防課の庶務担当及び消防担当を管理指導担当とした。また、増加する救急要請に対応するため、中央消防署の救急隊を2台体制とし、組織の充実強化を図る。
- 11 . 16 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。

令和元年

- 4 . 1 機構改革により、消防局に新消防庁舎建設準備室(庁舎建設担当)を配置し、消防局5課及び1室(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課、新消防庁舎建設準備室)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となる。

令和3年

- 4 . 1 機構改革により、総務課の財務担当を企画財政担当とした。また川越北消防署に統括管理課(統括管理担当)を配置し、消防課の管理指導担当を指導担当とした。

○川越非常備消防

昭和49年

- 3 . 31 川越市消防団大東分団車庫木造モルタル平屋建49. 47㎡を移築した。

昭和51年

- 1 . 29 川越市消防団高階分団車庫ブロック造平屋建42. 0㎡を新築した。
11 . 1 川越市消防団山田分団車庫ブロック造平屋建53. 39㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 18 川越市消防団南古谷分団車庫鉄骨造2階建56. 0㎡を新築した。

昭和53年

- 3 . 30 川越市消防団第二分団車庫木造モルタル平屋建19. 04㎡を増改築し、48. 2㎡に整備した。
川越市消防団福原分団車庫木造モルタル平屋建12. 82㎡を増改築し、47. 53㎡に整備した。

昭和54年

- 3 . 22 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造2階建66. 14㎡を新築した。

昭和56年

- 3 . 31 川越市消防団霞ヶ関分団車庫木造34. 65㎡に2階部分34. 6㎡を増築し、69. 26㎡に整備した。
11 . 27 川越市消防団古谷分団車庫ブロック造40. 64㎡に木造2階部分34. 61㎡を増築し、75. 25㎡に整備した。

昭和57年

- 12 . 20 川越市消防団第一分団車庫木造及びブロック造平屋建に8. 26㎡増築し、61. 15㎡に整備した。

昭和58年

- 9 . 9 川越市消防団芳野分団車庫ブロック造平屋建に1. 28㎡増築し、44. 86㎡に整備した。

昭和61年

- 2 . 10 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。
3 . 31 川越市消防団福原分団車庫鉄骨造平屋建67. 62㎡を新築した。

昭和63年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数304人とした。
組織力強化のため、団本部の副団長を2人から3人体制とした。

平成 元年

- 3 . 11 川越市消防団大東分団車庫鉄骨造2階建84. 20㎡を新築した。

平成 3年

- 3 . 30 川越市消防団第三分団車庫鉄骨造2階建104. 52㎡を新築した。

平成 7年

- 3 . 31 川越市消防団第一分団車庫鉄筋コンクリート造2階建91. 4㎡を新築した。
川越市消防団古谷分団車庫鉄筋コンクリート造一部木造2階建99. 4㎡を新築した。

平成 8年

- 8 . 20 第19回埼玉県消防操法大会(ポンプ車の部)において優勝した。

平成10年

- 3 . 17 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団専用無線(基地局1台、車両積載12台、携帯型17台)を導入整備した。
- 4 . 1 組織力強化のため、団本部の副団長を3人から4人体制とした。

平成11年

- 2 . 9 日本消防協会表彰「表彰旗」を受賞した。
- 3 . 15 川越市消防団第二分団車庫鉄筋コンクリート造2階建109.79㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数305人とした。

平成12年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

- 7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

- 3 . 14 川越市消防団山田分団車庫鉄骨造2階建112.00㎡を新築した。

平成16年

- 2 . 20 川越市消防団高階分団車庫鉄筋コンクリート造2階建112.00㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を20人増員、定数325人とし、女性消防団員20人を新規に採用した。

平成17年

- 3 . 25 川越市消防団芳野分団車庫鉄骨造平屋建104.00㎡を新築した。
- 10 . 20 川越市女性消防隊が第17回全国女性消防操法大会に埼玉県代表として出場し、準優勝した。

平成18年

- 3 . 28 川越市消防団霞ヶ関分団車庫鉄骨造平屋建100.00㎡を新築した。

平成19年

- 3 . 1 川越市消防団南古谷分団車庫木造平屋建103.10㎡を新築した。

平成20年

- 3 . 7 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。
- 3 . 26 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造平屋建100.00㎡を新築した。

平成23年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を5人増員し、定数330人とした。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 3 . 14 川越市消防団福原分団車庫鉄筋コンクリート造2階建99.22㎡を新築した。

平成26年

- 9 . 9 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェンソーを配置した。

平成27年

- 1 . 11 一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽自動車の寄贈を受けた。
- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。
- 10 . 14 災害活動の充実強化を図るため、各分団にエンジンカッターを配置した。

令和元年

- 3 . 6 消防庁長官表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和4年

- 3 . 4 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

○川島非常備消防

昭和49年

- 4 . 1 川島町消防団が改組され、3分団6部、定数150人の組織から1団本部6分団、定数118人の組織体制となる。

昭和50年

- 12 . 23 川島町消防団第五分団車庫ブロック造平屋建25. 21㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 31 川島町消防団第六分団車庫ブロック造平屋建49. 98㎡を新築した。

昭和58年

- 11 . 30 川島町消防団第三分団車庫ブロック造平屋建3. 3㎡を増築して23. 1㎡に整備した。

昭和60年

- 7 . 19 災害現場での迅速な指揮活動のため団本部指令車1台を購入した。

昭和63年

- 3 . 30 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建29. 7㎡を新築した。

平成 3年

- 2 . 13 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建49. 87㎡を新築した。

平成 4年

- 2 . 13 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

平成 7年

- 2 . 17 川島町消防団第一分団車庫鉄骨造平屋建60. 3㎡を新築した。

平成11年

- 3 . 5 消防庁長官表彰「表彰旗」を受賞した。

平成12年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

- 3 . 28 川島町消防団第四分団車庫鉄骨造2階建85. 66㎡を新築した。
4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

- 7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

- 3 . 21 川島町消防団第五分団車庫鉄骨造2階建88. 9㎡を新築した。

平成17年

- 2 . 3 川島町消防団第六分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成18年

- 1 . 16 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建2. 16㎡を増設した。(全体52. 03㎡)

平成19年

3 . 15 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建89.43㎡を新築した。

平成22年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を6人増員、定数124人とし、女性消防団員7人を新規に採用した。

平成24年

5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を5人増員、定数129人とした。

平成26年

11 . 8 川島町消防団第五分団が第24回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場し、敢闘賞を受賞した。

平成27年

3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。

平成28年

3 . 10 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェーンソーを配置した。

管内情勢

川越市

川越市の位置

位 置		面 積	
北 緯	35° 55' 30''	109. 13km ²	
東 経	139° 29' 08''	東 西	16. 27km
海 抜	18. 5m	南 北	13. 81km

川越市のあゆみ

川越市は、埼玉県の中央部よりやや南部、武蔵野台地の東北端に位置し、遠く古代より交通の要衝、入間地域の政治の中心として発展してきました。平安時代には桓武平氏の流れをくむ武蔵武士の河越氏が館を構え勢力を伸ばしました。室町時代には、河越城を築城した太田道真・道灌父子の活躍により、扇谷上杉氏(おうぎがやつうえずぎし)が関東での政治・経済・文化の一端を担うとともに、河越の繁栄を築きました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として重要視されました。

大正11年には埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30年には隣接する9村を合併し現在の市域となり、平成15年には埼玉県内で初めて中核市に移行しました。

川越市は、都心から30キロメートルの首都圏に位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有しています。現在も、埼玉県南西部地域の中心都市として発展を続けています。

川 島 町

川島町の位置

位 置		面 積	
北 緯	36° 00' 00''	41. 63km ²	
東 経	139° 30' 55''	東 西	11. 2km
海 抜	14. 5m	南 北	7. 9km

川島町のあゆみ

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は都幾川・市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41. 63平方キロメートルで、東西間11キロメートル、南北間8キロメートルの距離となっています。標高は平均14. 5メートルで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子がうかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・ハツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行しました。

現在、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジの開通に伴い、インター周辺開発が進み、町は変革のときを迎えています。



〒350-0823
川越地区消防局
川越北消防署
川越市神明町48番地4
TEL 049-222-0700



〒350-1108
川越西消防署
川越市伊勢原町5丁目3番地
TEL 049-231-2066



〒350-0815
川越西消防署 名細分署
川越市大字鯨井589番地1
TEL 049-234-0119



〒350-1162
川越中央消防署 大東分署
川越市南大塚1丁目1番地9
TEL 049-245-3119

消防機関配置図



〒350-0131
川島消防署
川島町大字平沼888番地
TEL 049-297-1891



〒350-1124
川越中央消防署
川越市新宿町2丁目14番地7
TEL 049-242-2365



〒350-0011
川越北消防署 南古谷分署
川越市大字久下戸3528番地1
TEL 049-235-0801



〒350-1137
川越中央消防署 高階分署
川越市大字砂新田16番地3
TEL 049-243-8054



総

務

人口等の推移

(1) 川越市、川島町の状況

各年4月1日現在

人口等 年	人口(人)		世帯数(世帯)		人口密度(人/㎢)	
	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町
平成29年	351,863	20,658	154,766	8,001	3,224	496
平成30年	352,418	20,488	156,725	8,111	3,229	492
令和元年	353,078	20,189	158,724	8,113	3,235	485
令和2年	353,456	19,863	160,831	8,090	3,239	477
令和3年	353,442	19,622	163,023	8,112	3,239	471
令和4年	352,896	19,281	164,413	8,108	3,234	463

面積＝川越市109.13㎢

川島町41.63㎢

(2) 消防組合区域の状況

人口等 年	人口(人)	世帯数(世帯)	人口密度(人/㎢)
平成29年	372,521	162,767	2,471
平成30年	372,906	164,836	2,474
令和元年	373,267	166,837	2,476
令和2年	373,319	168,921	2,476
令和3年	373,064	171,135	2,475
令和4年	372,177	172,521	2,469

面積＝150.76㎢

消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

令和4年4月1日現在

人口等 吏員等	現有数	人口(人)	世帯数 (世帯)	面積 (㎢)
消防吏員1人当り	434人	858	398	0.35
消防ポンプ車1台当り	18台	20,677	9,585	8.38
救急車1台当り	12台	31,015	14,377	12.56
1署当り	8署	46,522	21,565	18.85

※定数外の職員を含みます。

※再任用短時間勤務職員を含みません。

令和4年4月1日



消防局・消防署事務分掌

令和4年4月1日現在

消防局

総務課	総務担当	1 組合議会に関すること。 2 儀式及び表彰に関すること。 3 文書の管理に関すること。 4 公印に関すること。 5 情報公開制度に関すること。 6 個人情報の保護に関すること。 7 条例及び規則等に関すること。 8 広報及び広聴の総合的な調整等に関すること。 9 監査に関すること。 10 公平委員会に関すること。 11 消防長会等に関すること。 12 課内の庶務事務に関すること。 13 その他他の主管に属さない事項に関すること。
	消防団担当	1 消防団に関すること。 2 消防協会に関すること。
	企画財政担当	1 総合計画に関すること。 2 行政組織に関すること。 3 本部会議、所属長会議及び担当会議に関すること。 4 消防統計(他の主管に属する統計を除く。)に関すること。 5 予算の編成に関すること。 6 予算の執行計画、配当及び執行統制に関すること。 7 物品の出納及び保管に関すること。 8 決算に関すること。
	職員担当	1 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。 2 職員の服務その他身分取扱いに関すること。 3 職員の配置に関すること。 4 職員等の旅費に関すること。 5 職員の給与に関すること。 6 職員の給貸与物品に関すること。 7 職員の教養及び研修に関すること。 8 職員の福利厚生に関すること。 9 職員の労働安全衛生に関すること。 10 職員の公務災害補償に関すること。 11 市町村職員共済組合に関すること。
	管理担当	1 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 2 契約に関すること。 3 国庫及び県費の補助に関すること。
予防課	予防担当	1 火災予防に係る事業計画の立案及び事業の実施に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等の指導に関すること。 4 消防法(昭和23年法律第186号)第7条に基づく建築物の許可等の同意に関すること。 5 法令に基づく各種届出に関すること。 6 予防統計に関すること。 7 住民の防火組織の育成指導に関すること。 8 自衛消防の育成指導に関すること。 9 危険物防火安全協会に関すること。 10 課内の庶務事務に関すること。

予 防 課	査察指導担当	1 消防対象物の査察に関する事。 2 違反防火対象物の改善指導に関する事。 3 表示及び公表の制度に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。
	保安担当	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物製造所等の許認可、査察、事故原因調査及び事故防止対策指導に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の届出の受理に関する事。 4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務に関する事。 5 火薬類取締法(昭和25年法律第49号)に基づく事務に関する事。 6 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事務に関する事。
	火災調査担当	1 火災の原因及び損害の調査、報告及び統計に関する事。 2 火災証明に関する事。 3 火災調査技術の研究に関する事。
警 防 課	警防担当	1 警防及び救助業務に係る企画立案に関する事。 2 警防活動体制に関する事。 3 消防相互応援協定に関する事。 4 緊急消防援助隊に関する事。 5 警防計画に関する事。 6 警防本部の運営に関する事。 7 消防水利に関する事。 8 救助統計に関する事。 9 国際消防救助隊に関する事。 10 課内の庶務事務に関する事。
	装備担当	1 消防車両及び消防資機材の整備に関する事。 2 消防車両の管理に関する事。 3 公用車の事故処理に関する事。 4 安全運転管理の指導に関する事。
救 急 課	救急担当	1 救急業務に係る企画立案に関する事。 2 救急自動車及び救急資機材の整備に関する事。 3 医療機関等との連絡調整に関する事。 4 救急出場証明に関する事。 5 救急高度化の推進に関する事。 6 救急統計に関する事。 7 応急手当の普及及び啓発に関する事。 8 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。 9 メディカルコントロールに関する事。
指 揮 統 制 課	指令管理担当	1 消防緊急通信指令施設に関する事。 2 消防気象観測装置の管理に関する事。 3 課内の庶務事務に関する事。
	第一指令担当 及び 第二指令担当	1 緊急通報受信及び出場指令に関する事。 2 災害等の情報の収集及び連絡に関する事。 3 災害現場への支援情報に関する事。
	第一指揮担当 及び 第二指揮担当	1 災害現場における指揮活動に関する事。 2 災害現場における情報収集及び現場広報に関する事。 3 警防活動技術の調査、研究及び計画に関する事。 4 消防部隊の教育訓練の計画及び実施に関する事。
建 新 設 消 準 防 備 庁 室 舎	庁舎建設担当	1 新消防庁舎建設に関する事。

川越北消防署 南古谷分署
川越中央消防署 高階分署 大東分署
川越西消防署 名細分署
川島消防署

(川越北消防署) 統括管理課	統括管理担当	1 消防署の予算(川島町消防団予算を除く。)の執行事務に関すること。 2 署会議及び署担当会議に関すること。 3 消防署間の事務の調整に関すること。 4 職員の教養及び研修に関すること。
消防課(消防署)	指導担当	1 消防署に係る公印に関すること。 2 署長等が主宰する会議に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 消防対象物の査察の実施に関すること。 5 圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いに関すること。 6 防火対象物に対する防火管理に関すること。 7 火災予防等の計画及び実施に関すること。 8 法令に基づく届出に関すること。 9 訓練指導に関すること。 10 消防署内の事務の調整に関すること。 11 川島町消防団に関すること(川島消防署消防課に限る。) 12 消防協会に関すること(川島消防署消防課に限る。)。
警備課(消防署)・分署	第一警備担当 及び 第二警備担当	1 水火災、救助等の災害時等の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 消防車の維持管理に関すること。 9 消防資機材の運用及び維持管理に関すること。 10 警防活動及び救助活動の研究に関すること。 11 警防調査に関すること。 12 課(分署)内の庶務事務に関すること。
	第一救急担当 及び 第二救急担当	1 救急の出動に関すること。 2 応急手当の指導に関すること。 3 救急車の維持管理に関すること。 4 救急資機材の運用及び維持管理に関すること。 5 救急医薬品に関すること。 6 救急活動の研究に関すること。
	第一救助担当 及び 第二救助担当 [川越中央消防署 名細分署 川島消防署]	1 水火災、救助等の災害時の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 救助工作車等の維持管理に関すること。 9 救助資機材等の運用及び維持管理に関すること。 10 救助活動の研究に関すること。 11 救助活動及び警防活動に伴う警防調査に関すること。

職員の配置状況

令和4年4月1日現在

階級 署所	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	消防吏 員以外 の職員	合 計
消 防 局	1	3	11	17	34	15(3)	2	3	1	87(3)
川 越 北 消 防 署		1	3	8	15	8(2)	5	8		48(2)
南 古 谷 分 署			1	4	13	5	3	7		33
川 越 中 央 消 防 署		1	2	9	27	10(2)	10	12		71(2)
高 階 分 署			1	4	12	3	3	10		33
大 東 分 署			1	4	15	1	3	9		33
川 越 西 消 防 署		1	2	5	16	3(2)	3	12		42(2)
名 細 分 署			1	4	18	8	6	8		45
川 島 消 防 署		1	2	6	13	7(2)	8	6		43(2)
合 計	1	7	24	61	163	60(11)	43	75	1	435(11)

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。

(単位:人)

※定数外の職員を含みます。

消防自動車の配置状況

令和4年4月1日現在

車 両 署所	水槽付 ポンプ 自動車	ポンプ 自動車	化学車	水槽車	高規格 救急車	救 助 工作車	はしご車	指揮車	調査車	指令車	後 方 支援車	警防車	広報車	その他	合 計	小 型 動 力 ポンプ
消 防 局								1	1	3				1(赤バイ) 6(連絡車)	12	
川 越 北 消 防 署		1	1		2		1					1	1	1(マイクロ) 1(連絡車)	9	2
南 古 谷 分 署	1	1			2							1	1		6	1
川 越 中 央 消 防 署		2	1		2	1	1					1	1	2(連絡車)	11	1
高 階 分 署	1	1			1		1						1		5	1
大 東 分 署		1	1	1	1								1		5	1
川 越 西 消 防 署	1	2			1		1						1	1(連絡車)	7	1
名 細 分 署	1	1			2	1					1	1	1		8	1
川 島 消 防 署	1	1			1	1						1	1	1(起震車) 1(連絡車)	8	1
合 計	5	10	3	1	12	3	4	1	1	3	1	5	8	14	71	9

(単位:台)

基準消防力と現有消防力の比較

令和4年4月1日現在

区分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区分	基準台数	現有台数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	320	78
はしご車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	9	82			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	20	20	100			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	3	150			
通信員				18	16	89
予防要員				70(16)	55(16)	79
庶務処理等の人員				67	70	104
合計				550	445	81

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していません。

※ 現有人員は、再任用短時間勤務職員を含みます。

川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

(1) 市・町予算に対する消防組合の割合

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合 計 (千円)	消防組合 予 算 (千円)	市町予算 合計額に 対する組合 予算の割合 (%)	住民1人 当たりの 組合予算 (円)	消防職員1人 当たりの常 備消防予算 (円)
令和2年度	115,850,000	7,146,000	122,996,000	6,327,576	5.1	16,949	13,550,970
令和3年度	112,070,000	6,935,000	119,005,000	5,401,425	4.5	14,479	11,320,659
令和4年度	116,720,000	7,513,000	124,233,000	5,523,176	4.4	14,840	11,649,300

(2) 市・町予算に対する消防組合負担金等の割合

区分 年度	川 越 市 負 担 金 等 (千円)	市 予 算 に 対 す る 負 担 割 合 (%)	川 島 町 負 担 金 等 (千円)	町 予 算 に 対 す る 負 担 割 合 (%)	共通経費負担割合	
					川 越 市 (%)	川 島 町 (%)
令和2年度	4,818,781	4.2	544,552	7.6	90	10
令和3年度	4,418,310	3.9	508,382	7.3	90	10
令和4年度	4,510,880	3.9	518,732	6.9	90	10

※ 負担金等：負担金及び受託料を含む

消防組合予算（当初）

(1) 歳 入

区 分	年度予算額等		令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
			予 算 額(千円)	構成割合(%)	予 算 額(千円)	構成割合(%)
分 担 金 及 び 負 担 金			4,916,870	91.0	5,022,541	90.9
使 用 料 及 び 手 数 料			4,588	0.1	4,468	0.1
財 産 収 入			1,938	0.0	100	0.0
寄 付 金			—	—	1	0.0
繰 越 金			165,440	3.1	75,000	1.4
諸 収 入			27,669	0.5	25,566	0.5
組 合 債			278,900	5.2	395,500	7.2
県 支 出 金			6,020	0.1	—	—
歳 入 合 計			5,395,405	100.0	5,523,176	100.0

(2) 歳 出

年度予算額等 区 分	令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
	予 算 額 (千円)	構成割合(%)	予 算 額 (千円)	構成割合(%)
議 会 費	5,464	0.1	6,538	0.1
総 務 管 理 費	3,234	0.1	4,007	0.1
監 査 委 員 費	388	0.0	383	0.0
常 備 消 防 費	4,913,166	91.0	5,044,147	91.3
非 常 備 消 防 費	115,747	2.1	137,395	2.5
水 利 施 設 費	91,671	1.7	86,694	1.6
自 警 消 防 費	6,701	0.1	3,588	0.1
水 防 費	3,121	0.1	3,483	0.1
公 債 費	257,433	4.8	232,441	4.2
予 備 費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳 出 合 計	5,401,425	100.0	5,523,176	100.0

消防組合予算性質別内訳（当初）

年度予算額等 区 分	令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
	予 算 額 (千円)	構成割合(%)	予 算 額 (千円)	構成割合(%)
人 件 費	4,155,260	76.9	4,135,158	74.9
物 件 費	451,835	8.4	504,308	9.1
維 持 補 修 費	7,886	0.1	13,021	0.2
補 助 費 等	216,178	4.0	120,309	2.2
普 通 建 設 事 業 費	308,233	5.7	499,389	9.0
公 債 費	257,433	4.8	232,441	4.2
積 立 金	100	0.0	14,050	0.3
予 備 費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳 出 合 計	5,401,425	100.0	5,523,176	100.0

※ 構成割合(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。
したがって、構成割合は、合計が100%とならない場合があります。

消防庁舎の現況

令和4年4月1日現在

署 所	所 在 地	建築年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消 防 局	〒350-0823 川越市神明町48-4	S49.11.21 H 4.10. 5 (増築)	鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	791.80 238.06	2,237.66
川越北消防署	消防局と併用	-	-	-	-	-
南古谷分署	〒350-0011 川越市大字久下戸 3528-1	S61. 6.25	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	〒350-1124 川越市新宿町 2-14-7	H10.11.13	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.145	1,772.93
高 階 分 署	〒350-1137 川越市大字砂新田 16-3	S47. 8.30	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大 東 分 署	〒350-1119 川越市南大塚1-1-9	S54. 3.15 H30. 3.28 (増築)	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	1,578.08	398.80 48.59	441.55
川越西消防署	〒350-1108 川越市伊勢原町5-3	H 6. 3.31	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名 細 分 署	〒350-0815 川越市大字鯨井 589-1	H16. 3.31	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川島消防署	〒350-0131 川島町大字平沼888	H 5. 7.12	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

令和3年度主要な施設等の整備

事 業 名		事 業 内 容	事 業 費
施設関係	庁舎等整備	川越市消防団大東分団車庫ホース乾燥塔設置その他工事	3,628,900
	消防局 庁舎建設	川越地区消防局・川越北消防署新庁舎建設事業用地の取得	128,534,430
		川越地区消防局・川越北消防署新消防庁舎建設工事実施設計業務委託	217,743,882
備品関係	車両等整備	連絡車(川越中央消防署)	927,190

(単位:円)

職員定数・実員の推移

各年4月1日現在

	定 数	実 員	定数条例改正年月日		定 数	実 員	定数条例改正年月日
昭和 48年	165	143	昭和48年4月1日	平成 11年	361	360	平成11年4月1日
49年	166	166	昭和49年4月1日	12年	371	368	平成12年4月1日
50年	167	167	昭和50年4月1日	13年	377	375	平成13年4月1日
51年	167	167		14年	391	391	平成14年4月1日
52年	167	166		15年	407	407(2)	平成15年4月1日
53年	174	167	昭和53年4月1日	16年	424	424	平成16年4月1日
54年	195	195	昭和54年4月1日	17年	424	424	
55年	203	202	昭和55年4月1日	18年	428	428	平成18年4月1日
56年	207	207	昭和56年4月1日	19年	428	428	
57年	212	212	昭和57年4月1日	20年	428	428	
58年	215	214	昭和58年4月1日	21年	428	427(2)	
59年	215	214		22年	428	428(5)	
60年	215	214		23年	428	428(12)	
61年	236	233	昭和61年4月1日	24年	428	428(14)	
62年	236	236		25年	428	428(12)	
63年	236	235		26年	428	428(19)	
平成 元年	240	237	平成元年4月1日	27年	428	428(13)	
2年	240	240		28年	428	427(17)	平成28年4月1日 定数外の職員に係る規定の追加
3年	250	244	平成3年4月1日				
4年	267	265	平成4年4月1日	29年	428	428(11)	
5年	287	286	平成5年4月1日	30年	428	429(8)	
6年	320	308	平成6年4月1日	令和 元年	433	434(6)	平成31年4月1日
7年	325	323	平成7年4月1日	2年	433	432(8)	
8年	337	337	平成8年4月1日	3年	433	434(10)	
9年	342	340	平成9年4月1日	4年	435	435(11)	令和4年4月1日
10年	352	352	平成10年4月1日				

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。

※平成28年度以降の実員については、定数外の職員を含みます。

職員の年齢

令和4年4月1日現在

階級等 年齢	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
18歳								2		2
19歳								5		5
20歳								2		2
21歳								6		6
22歳								8		8
23歳								12		12
24歳								4		4
25歳								9		9
26歳								12		12
27歳								10		10
28歳							5	3		8
29歳							10			10
30歳							9	1		10
31歳							6	1		7
32歳						5	7			12
33歳						5				5
34歳						11	1			12
35歳						4	3			7
36歳					2	8	1			11
37歳					4	8	1			13
38歳					6	6				12
39歳					3	4				7
40歳					9	2				11
41歳					12	2				14
42歳					15	2				17
43歳					17				1	18
44歳					17	1				18
45歳					19	2				21
46歳				1	22					23
47歳				9	12					21
48歳				12	14					26
49歳				7	7					14
50歳				6						6
51歳				7	1					8
52歳			2	9	1					12
53歳			3	1						4
54歳			8	3						11
55歳		2	5	3	1					11
56歳		1	3	1						5
57歳		1		1	1					3
58歳	1	1	1							3
59歳		2	2	1						5
60歳						(1)				(1)
61歳						(5)				(5)
62歳						(4)				(4)
63歳										0
64歳						(1)				(1)
平 均	58.0	57.0	54.8	50.2	44.0	36.5 (61.5)	30.7	24.0	43.0	39.9 (61.5)
合 計	1	7	24	61	163	60 (11)	43	75	1	435 (11)

※ () は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしています。

※ 定数外の職員を含みます。

職員の勤続年数

令和4年4月1日現在

階級等 年数	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
1年未満						(11)		10	1	11(11)
1年以上								15		15
2年以上								8		8
3年以上								8		8
4年以上								14		14
5年以上								6		6
6年以上							3	5		8
7年以上							2	3		5
8年以上							4	4		8
9年以上						1	2	2		5
10年以上						3	6			9
11年以上						11	11			22
12年以上						6	6			12
13年以上						7	8			15
14年以上					2	6	1			9
15年以上					2	3				5
16年以上					3	5				8
17年以上					2	2				4
18年以上					11	7				18
19年以上					15	4				19
20年以上					16	1				17
21年以上					12	1				13
22年以上					12	3				15
23年以上					12					12
24年以上				2	13					15
25年以上				1	10					11
26年以上				4	13					17
27年以上				2	14					16
28年以上				2	16					18
29年以上			1	11	6					18
30年以上			2	15	1					18
31年以上			1	7						8
32年以上				3	1					4
33年以上			1	5	1					7
34年以上										0
35年以上			3	3						6
36年以上		4	11	4	1					20
37年以上										0
38年以上			2							2
39年以上		1		1						2
40年以上	1		2							3
41年以上		2	1	1						4
42年以上										0
43年以上										0
44年以上										0
45年以上										0
46年以上										0
平 均	40.0	37.9	35.5	30.6	23.1	14.6 (0.0)	10.5	3.2	0.0	19.2 (0.0)
合 計	1	7	24	61	163	60 (11)	43	75	1	435 (11)

※ () は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしています。

※ 定数外の職員を含みます。

職員の採用、退職等の状況

職員数等 年度	職員数 (4月1日現在)	採用人員	退職人員
令和元年	434(6)	9(1)	11(2)
令和2年	432(8)	12(4)	13(3)
令和3年	434(10)	13(5)	9(0)
令和4年	435(11)	10(1)	—

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。

※職員数については、定数外の職員を含みます。

※令和4年度の採用人員数は、4月1日現在のものとなります。

職員の教養実施状況

(1) 消防大学校

教養課程 年度	上級 幹部科	幹部科	警防科	予防科	危険物科	救急科	救助科	火災 調査科	高度救助 コース	N B C コース	女性活躍 推進コース	合 計
令和元年		1					1			1		3
令和2年	1	1		1		1		1	1	1	1	8
令和3年												0

※令和3年度は配分なし

(単位:人)

(2) 県消防学校

教養課程 年度	初任教育	専 科						幹部教育	特別教育	合 計
		予防査察	警 防	特殊災害	救 急	救 助	火災調査			
令和元年	10		3		10	2	2	2	4	33
令和2年		3	2	2	7	2		2	2	20
令和3年	16		2		8	2	1		4	33

(単位:人)

(3) その他

- ・ 消防長訓示 毎月初旬、全職員を対象として通常点検訓示を実施しています。
- ・ 一般教養 職員を対象とした各種研修等を適宜実施しています。

消防音楽隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、演奏によりその意義を高めるとともに市町民との融和を図り、消防業務の推進に寄与することを任務とし、平成13年4月1日に設立。消防関係行事をはじめ市町主催の各種行事にも出場し、広く市町民に対して消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発と消防のPRに努めています。

1 編 成

隊員編成

令和4年4月1日現在

隊長 1名	副隊長 3名	隊員 35名
-------	--------	--------

保有楽器

楽 器 名	数 量	楽 器 名	数 量
シ ン バ ル	1	ティンパニー	4
鉄 琴	2	ド ラ ム	1
木 琴	1	バ リ ト ン	1
ト ラ ン ペ ッ ト	5	エレキギター	1
サ ク ソ フ ォ ン	7	エレキベース	1
フレンチホルン	4	チ ュ ー バ	2
ト ロ ン ボ ー ン	4	ユーフォニウム	2
ク ラ リ ネ ッ ト	6	コンサートドラム	1
ピ ッ コ ロ	1	チャイム	1
フ ル ー ト	3	シ ロ ホ ン	1

2 活動状況

令和3年度

種別 月	訓練回数		出 演 状 況 内 訳			
	合同 訓練	パート 訓練	消 防 関 係	市 町 関 係	その他	備 考
4月		2				
5月	1					
6月						
7月						
8月						
9月						
10月	3	4				
11月	2	4				
12月	2	4				
1月						
2月						
3月						
合 計	8	14	0	0	0	

消防相互応援協定等の状況

令和4年4月1日現在

消防相互応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成10年12月25日	比企広域市町村圏組合
2	平成11年4月1日	高崎市等広域市町村圏振興整備組合
3	平成14年4月1日	入間東部地区事務組合
4	平成18年9月5日	さいたま市
5	平成18年11月1日	上尾市
6	平成19年6月20日	埼玉県央広域事務組合・桶川市・北本市
7	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
8	平成20年3月10日	坂戸・鶴ヶ島消防組合
9	平成25年4月1日	埼玉西部消防組合

防災ヘリコプター応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成3年3月29日	埼玉県

関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成31年4月1日	埼玉県下10消防機関

鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成18年12月1日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内鉄道事業者(11社)

災害時における高速自動車国道等の使用の取り扱いに関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成19年11月27日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内埼玉DMAT登録医療機関

自衛隊又は米軍の航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成10年3月20日	埼玉県、埼玉県警察本部、航空自衛隊中部航空警戒管制団 他

埼玉医科大学総合医療センター場外離着陸場を利用した救急搬送に関する協定書

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成26年2月1日	埼玉県、埼玉医科大学総合医療センター

救急ワークステーションの運営に関する基本協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年2月7日	埼玉医科大学総合医療センター

大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年4月1日	埼玉中央生コン協同組合、株式会社川村興産 東和アークス株式会社
2	平成30年10月1日	有限会社渋谷建材、有限会社貫井建材店

災害時に必要な燃料等の優先供給に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年4月1日	埼玉中央農業協同組合、埼玉中央農業協同組合川島基幹支店
2	平成30年7月1日	有限会社山口油材、相沢石油店、株式会社伊藤興産、永翔石油株式会社、有限会社中村石油、野口石油株式会社

災害時における消防活動の協力に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	令和2年3月19日	埼玉県解体業協会

災害時における無人航空機による情報収集活動の協力に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	令和2年11月1日	株式会社ジュンテクノサービス

予

防

法令に基づく各種届出状況

各年度

	防 火 管 理		防 災 管 理		防 火 対 象 物 使 用 開 始	発 変 電 設 備	ネ オ ン 管 灯 備	催 物
	選 解 任	消防計画	選 解 任	消防計画				
令和元年度	769	846	9	10	336	79		1
令和2年度	763	844	39	48	369	130		
令和3年度	765	844	21	24	341	75		

防火管理者選任届出事業所数

令和4年4月1日現在

区 分		選任 届出数	区 分		選任 届出数	区 分		選任 届出数
1イ	劇場等	2	6イ	病院等	39	12ロ	スタジオ	
1ロ	公会堂等	151	6ロ	特別養護老人ホーム等	74	13イ	駐車場等	
2イ	キャバレー等		6ハ	老人デイサービスセンター等	82	13ロ	航空機格納庫	
2ロ	遊技場等	24	6ニ	幼稚園等	29	14	倉庫	33
2ハ	性風俗特殊営業店舗等		7	学校	67	15	事務所等	122
2ニ	カラオケボックス等	8	8	図書館等	5	16イ	特定複合用途防火対象物	495
3イ	料理店等		9イ	特殊浴場		16ロ	非特定複合用途防火対象物	30
3ロ	飲食店	135	9ロ	一般浴場	1	16-2	地下街	
4	百貨店等	179	10	停車場等		16-3	準地下街	
5イ	旅館等	22	11	神社・寺院等	10	17	文化財	
5ロ	共同住宅等	179	12イ	工場等	97	合 計		1,784

月別建築物同意処理件数

各年度

	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年度	336	34	20	34	35	21	28	26	26	20	28	26	38
令和2年度	320	27	21	31	25	19	31	31	16	30	27	31	31
令和3年度	377	32	30	30	40	33	41	33	20	27	37	20	34

消防用設備等設置届出検査処理状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

署所(区域) 消防用設備等		消防局	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合計
屋 内 消 火 栓 設 備	届 出	5	5	3	3	2	18
	検 査	5	3	2	2	1	13
スプリンクラー 設 備	届 出	16	7	25	3	2	53
	検 査	16	4	16	1	1	38
泡 消 火 設 備	届 出		1			1	2
	検 査						0
不活性ガス消火設備	届 出			1			1
	検 査			1			1
ハロゲン化物消火設備	届 出			2			2
	検 査			1			1
粉 末 消 火 設 備	届 出	3		4	1		8
	検 査	2		1	1		4
屋 外 消 火 栓 設 備	届 出	2	4		1		7
	検 査	2	3		1		6
自 動 火 災 報 知 設 備	届 出	66	75	122	51		314
	検 査	63	32	69	35	6	205
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	届 出	16		3	4		23
	検 査	16		2	4		22
非 常 警 報 設 備	届 出	30	16	38	9	1	94
	検 査	17	9	22	7	1	56
避 難 設 備	届 出	115	54	87	31	14	301
	検 査	81	22	54	20	6	183
合 計	届 出	253	162	285	103	20	823
	検 査	202	73	168	71	15	529

※自動火災報知設備には、共同住宅用自動火災報知設備等を含みます。

建築物同意状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

防火対象物		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	イ、劇場等														0
	ロ、公会堂等								1						1
2	イ、キャバレー等														0
	ロ、遊技場等														0
	ハ、性風俗特殊営業店舗等														0
	ニ、カラオケボックス等														0
3	イ、料理店等														0
	ロ、飲食店			2		2	1		1					2	8
4	百貨店等		1	1			1	2		1	2	1			9
5	イ、旅館等														0
	ロ、共同住宅等		5	6	3	8	5	3	5	2	5	5	5	1	53
6	イ、病院等		1	2				1			1			1	6
	ロ、特別養護老人ホーム等					3			2	2	1		1		9
	ハ、老人デイサービスセンター等		1		2		2							1	6
	ニ、幼稚園等		2								1				3
7	学校		1					1				1			3
8	図書館等														0
9	イ、特殊浴場														0
	ロ、一般浴場							1							1
10	停車場等														0
11	神社・寺院等								1						1
12	イ、工場等			2	1	1	1		2	2	1	3	1		14
	ロ、スタジオ														0
13	イ、駐車場等										1				1
	ロ、航空機格納庫														0
14	倉庫		1	1		2	2		1		1	3			11
15	事務所等		1	4	7	6	4	5		2	2	5	1	4	41
16	イ、特定複合用途防火対象物		1	1	3	2	1	2	2	1		1	2	2	18
	ロ、非特定複合用途防火対象物				1			1	1	1			1		5
16-2	地下街														0
16-3	準地下街														0
17	文化財														0
18	アーケード														0
危険物施設			1		1										2
工作物															0
住宅（住宅の附属建築物及び併用住宅含む）			17	11	12	16	16	25	17	9	12	18	9	23	185
合 計			32	30	30	40	33	41	33	20	27	37	20	34	377

防火対象物（政令第１０条以上）を有する事業所数

令和4年4月1日現在

防火対象物		署所(区域)	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合 計
1	イ、劇場等		3				3
	ロ、公会堂等		65	89	71	76	301
2	イ、キャバレー等						0
	ロ、遊技場等		7	12	7	1	27
	ハ、性風俗特殊営業店舗等						0
	ニ、カラオケボックス等			7	2		9
3	イ、料理店等						0
	ロ、飲食店		130	121	52	39	342
4	百貨店等		151	227	83	35	496
5	イ、旅館等		12	22	20		54
	ロ、共同住宅等		748	2,056	775	44	3,623
6	イ、病院等		41	56	35	10	142
	ロ、特別養護老人ホーム等		31	40	41	6	118
	ハ、老人デイサービスセンター等		72	114	75	8	269
	ニ、幼稚園等		19	23	11	2	55
7	学校		91	86	67	11	255
8	図書館等		8		1	2	11
9	イ、特殊浴場						0
	ロ、一般浴場		2	1			3
10	停車場等		1	3	2		6
11	神社・寺院等		38	44	14	7	103
12	イ、工場等		318	283	184	175	960
	ロ、スタジオ			2	1		3
13	イ、駐車場等		11	27	5	10	53
	ロ、航空機格納庫					2	2
14	倉庫		239	210	81	100	630
15	事務所等		275	414	184	108	981
16	イ、特定複合用途防火対象物		264	438	101	27	830
	ロ、非特定複合用途防火対象物		88	182	56	12	338
16-2	地下街						0
16-3	準地下街						0
17	文化財		12			2	14
18	アーケード						0
19	市町村長の指定する山林						0
20	総務省令で定める舟車						0
合 計			2,626	4,457	1,868	677	9,628

防火対象物立入検査実施状況

平成3年4月1日～令和4年3月31日

署所(区域) 防火対象物		消防局	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合 計
1	イ、劇場等	1	1				2
	ロ、公会堂等	2	4	4	5	65	80
2	イ、キャバレー等						0
	ロ、遊技場等	1	1	2	1		5
	ハ、性風俗特殊営業店舗等						0
	ニ、カラオケボックス等			4			4
3	イ、料理店等		1	1			2
	ロ、飲食店	7	39	31	29	5	111
4	百貨店等	9	17	60	15	16	117
5	イ、旅館等		2	9	2		13
	ロ、共同住宅等	58	5	5	8		76
6	イ、病院等	5	32	26	14	3	80
	ロ、特別養護老人ホーム等	24	21	24	33	6	108
	ハ、老人デイサービスセンター等	10	35	50	30	3	128
	ニ、幼稚園等	4	3	5	7		19
7	学校		7	6	9	12	34
8	図書館等		1			1	2
9	イ、特殊浴場						0
	ロ、一般浴場	2	1				3
10	停車場等						0
11	神社・寺院等					1	1
12	イ、工場等	11	17	19	11	18	76
	ロ、スタジオ						0
13	イ、駐車場等	3		3			6
	ロ、航空機格納庫						0
14	倉庫	10	19	14	8	11	62
15	事務所等	19	13	23	15	3	73
16	イ、特定複合用途防火対象物	26	200	128	101	12	467
	ロ、非特定複合用途防火対象物	1	7	18	11	24	61
16-2	地下街						0
16-3	準地下街						0
17	文化財						0
18	アーケード						0
19	市町村長の指定する山林						0
20	総務省令で定める舟車						0
合 計		193	426	432	299	180	1,530

防火管理資格取得者数及び再講習状況

各年度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
甲種防火管理講習	3回 210人	5回 201人	4回 170人
乙種防火管理講習	2回 66人	2回 48人	2回 50人
甲種防火管理再講習	1回 24人	1回 26人	1回 21人

広報活動の状況

防火教室・防火講話

令和3年4月1日～令和4年3月31日

消防局		川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川 島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2	80	15	1,975	43	5,516	4	1,070	8	992	72	9,633

消防署見学・来署

令和3年4月1日～令和4年3月31日

川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
11	877	15	1,136	10	732	5	135	41	2,880

火災予防普及啓発映像貸出

各年度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数	10回	16回	8回
視聴者数	306人	1488人	194人

危険物関係処理状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区 分		許可件数等			完 成 検 査 数		
		設 置	変 更	合 計	設 置	変 更	合 計
製 造 所			27	27	3	32	35
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	3	5	2	3	5
	屋外タンク貯蔵所	1	9	10	1	5	6
	屋内タンク貯蔵所			0			0
	地下タンク貯蔵所		22	22		21	21
	簡易タンク貯蔵所	1		1	1		1
	移動タンク貯蔵所		1	1		1	1
	屋 外 貯 蔵 所			0			0
	小 計	4	35	39	4	30	34
取 扱 所	給 油 取 扱 所		23	23		22	22
	販 売 取 扱 所			0			0
	一 般 取 扱 所		26	26		27	27
	小 計	0	49	49	0	49	49
合 計		4	111	115	7	111	118

少量危険 物等届出	炉ボイラー 等届出	圧縮アセチレン ガス等届出	仮貯蔵 仮取扱承認	仮使用承認	完成検査前検査	
					水張	水圧
48	51	42	9	90	6	

数量別危険物製造所等施設数

令和4年4月1日現在

倍 数 区 分		5 倍 以 下	5 倍 を超え 10 倍 以 下	10 倍 を超え 50 倍 以 下	50 倍 を超え 100倍 以 下	100倍 を超え 150倍 以 下	150倍 を超え 200倍 以 下	200倍 を超え 1,000倍 以 下	1,000倍 を超え 5,000倍 以 下	5,000倍 を超え 10,000倍 以 下	合 計
製 造 所		2	6	8	9	2	1	5			33
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	58	38	27	9	18	2	11	6		169
	屋外タンク貯蔵所	15	11	45	18	6	3	8			106
	屋内タンク貯蔵所	15	6	1							22
	地下タンク貯蔵所	61	17	37	10	4	5	22			156
	簡易タンク貯蔵所	2									2
	移動タンク貯蔵所	28	2	6	8						44
	屋 外 貯 蔵 所	6	4	14							24
	小 計	185	78	130	45	28	10	41	6	0	523
取 扱 所	給 油 取 扱 所		5	29	8	5	2	36			85
	販 売 取 扱 所	1		1							2
	一 般 取 扱 所	39	39	22	11	1	1	3			116
	小 計	40	44	52	19	6	3	39	0	0	203
合 計		227	128	190	73	36	14	85	6	0	759

類別危険物施設状況

令和4年4月1日現在

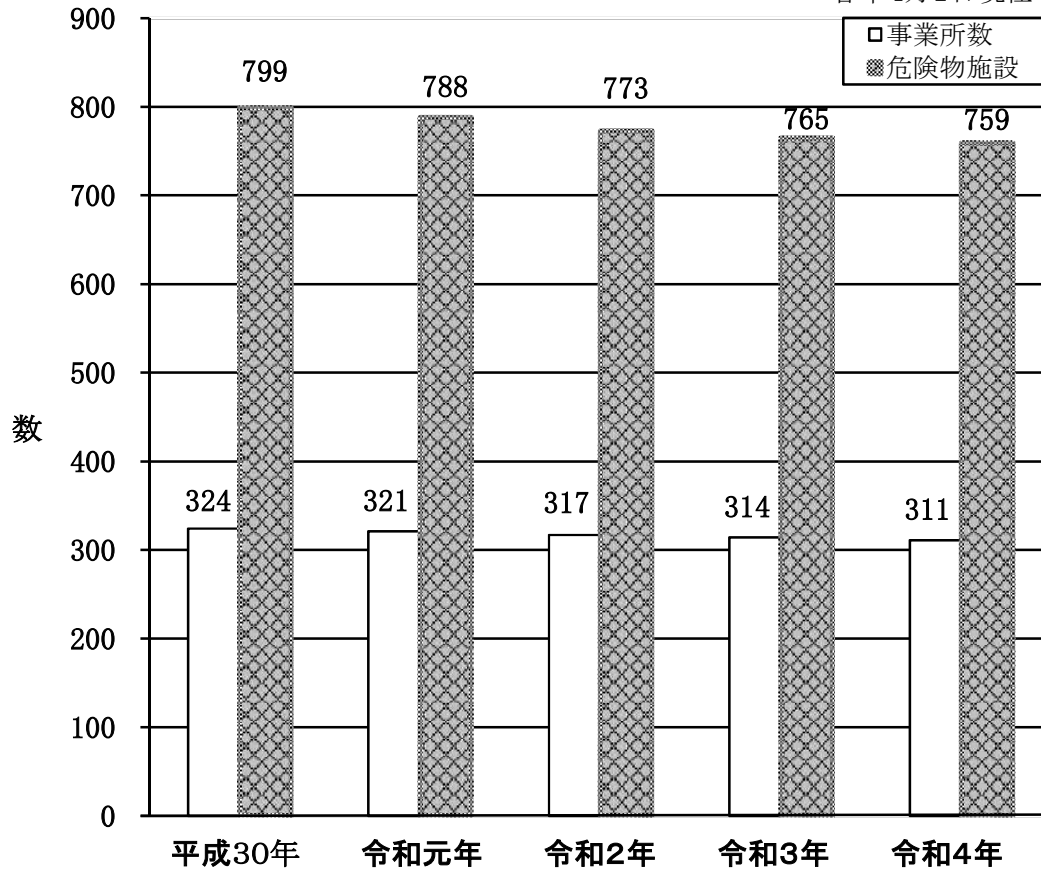
区 分 \ 類 別		第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在	合 計
製 造 所					16			17	33
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3			143	7		16	169
	屋外タンク貯蔵所				105	1			106
	屋内タンク貯蔵所				22				22
	地下タンク貯蔵所				156				156
	簡易タンク貯蔵所				2				2
	移動タンク貯蔵所				44				44
	屋 外 貯 蔵 所				24				24
	小 計	3	0	0	496	8	0	16	523
取 扱 所	給 油 取 扱 所				85				85
	販 売 取 扱 所				2				2
	一 般 取 扱 所				106	1		9	116
	小 計	0	0	0	193	1	0	9	203
合 計		3	0	0	705	9	0	42	759

備 考 危険物貯蔵・取扱、類別の主な内訳

第1類 塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、無水クロム酸
 第2類 硫黄、アルミニウム粉、マグネシウム
 第3類 ナトリウム、カリウム
 第4類 ガソリン、灯油、軽油、重油、エチルアルコール
 さく酸エチル、キシレン、トルエン
 第5類 硝化綿、ニトロ化合物、アゾ化合物、ヒドロキシルアミン
 第6類 濃硝酸、過酸化水素

危険物事業所・施設数の推移

各年4月1日現在



火薬類施設状況

令和4年4月1日現在

施設別 \ 署別	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川島 消防署	合計
火薬庫			7		7
火薬庫外貯蔵庫	1	6			7
販売所		2			2

火薬類申請届出等状況

令和4年4月1日現在

申請届出等種別	件数
火薬庫保安検査申請	7
定期自主検査報告書	2
火薬類安定度試験結果報告書	4
火薬類消費許可申請(煙火)	1
火薬庫外貯蔵場所廃止届出	1

警

防

所属別消防車両一覧表

令和4年4月1日現在

署所	号車	年式	購入年月日	自動車登録番号	備 考
消防局	指令1号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2377	
	指令2号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2378	
	指令3号車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2139	
	指揮車	25年	25・3・15	川越 830 さ 2406	
	調査車	21年	22・1・20	川越 800 さ 909	
	連絡1号車	18年	18・11・14	川越 300 さ 328	
	連絡2号車	22年	22・3・26	川越 480 い 2623	
	連絡3号車	18年	18・10・24	川越 500 さ 568	
	連絡4号車	24年	24・9・26	川越 300 そ 8315	
	連絡5号車	27年	27・8・18	川越 300 ち 6918	
川越北消防署	連絡6号車	2年	2・9・7	川越 480 か 3207	
	赤バイ	17年	17・11・21	0 川越 あ 1	
	化学車	26年	26・1・27	川越 830 さ 2504	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	27年	28・1・27	川越 830 さ 2706	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	17年	17・2・18	川越 830 せ 119	地上高 46.1m
	警防車	29年	29・3・10	川越 800 さ 2503	
	救急車	28年	28・11・8	川越 830 さ 2804	
	救急車	25年	26・1・9	川越 830 さ 2503	
	広報車	25年	25・8・15	川越 800 さ 1721	
	マイクロバス	19年	19・10・2	川越 200 さ 25	
南古谷分署	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2622	
	1号車	23年	23・1・24	川越 800 は 55	1,500 ^{リットル}
	2号車	27年	27・12・18	川越 830 す 2705	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	警防車	14年	14・12・2	川越 800 さ 110	
	救急車	2年	2・12・4	川越 830 さ 2003	
	救急車	25年	25・1・31	川越 830 さ 2404	
川越中央消防署	広報車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2140	
	化学車	29年	29・1・23	川越 830 さ 2807	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	2年	3・1・28	川越 830 さ 2004	1,300 ^{リットル}
	2号車	29年	29・12・14	川越 830 さ 2903	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	27年	27・3・13	川越 830 さ 2601	地上高30.5m
	救助工作車	24年	24・3・29	川越 830 す 2301	
	警防車	27年	27・11・13	川越 800 さ 2194	
	救急車	2年	2・11・16	川越 830 た 2002	
	救急車	29年	29・12・18	川越 830 さ 2902	
	広報車	28年	28・7・21	川越 800 さ 2373	
高階分署	連絡1号車	18年	18・12・4	川越 480 あ 776	
	連絡2号車	3年	3・11・24	川越 480 か 6209	
	1号車	22年	22・2・4	川越 800 は 47	1,500 ^{リットル}
	2号車	24年	25・1・15	川越 830 さ 2402	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	20年	20・2・29	川越 800 は 33	地上高15.3m 消防ポンプ付
大東分署	救急車	2年	2・10・22	川越 830 す 2001	
	広報車	18年	18・11・7	川越 800 さ 36	
	化学車	26年	26・2・6	川越 830 さ 2505	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	28年	29・1・12	川越 830 さ 2806	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	水槽車	23年	23・3・17	川越 800 は 58	5,000 ^{リットル}
川越西消防署	救急車	2年	2・1・30	川越 830 す 1901	
	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 963	
	1号車	21年	21・2・18	川越 800 は 40	1,500 ^{リットル}
	2号車	30年	30・11・16	川越 830 す 1801	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	3号車	20年	20・2・27	川越 800 さ 470	
	はしご車	2年	2・2・25	川越 830 す 1902	地上高35.3m
	救急車	29年	29・11・9	川越 830 さ 2901	
名細分署	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 964	
	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2624	
	1号車	30年	30・12・17	川越 830 さ 1803	1,500 ^{リットル}
	2号車	2年	2・12・24	川越 830 さ 2005	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	30年	30・3・6	川越 830 さ 2904	
	警防車	21年	21・3・3	川越 800 さ 712	
	救急車	30年	30・12・11	川越 830 す 1802	
川島消防署	救急車	25年	25・2・14	川越 830 さ 2405	
	支援車	19年	19・2・28	川越 830 た 119	
	広報車	16年	16・3・29	川越 800 さ 124	
	1号車	31年	31・1・22	熊谷 830 す 1804	1,500 ^{リットル}
	2号車	28年	28・12・14	熊谷 830 そ 2805	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	21年	21・2・23	熊谷 800 は 623	
	警防車	22年	22・3・25	熊谷 800 す 2793	
	救急車	31年	31・2・5	熊谷 830 そ 1805	
	広報車	27年	27・8・21	熊谷 800 す 5606	
	起震車	18年	18・1・31	熊谷 800 さ 9737	
	連絡車	27年	27・7・24	熊谷 480 す 8524	

消防水利の状況

令和4年4月1日現在

市 町	地 区 名	消 火 栓 (基)	防 火 水 そ う (基)												プ ー ル ・ 池 等
			20t未満			20t以上 40t未満			40t以上			合計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	876	19		19	28	5	33	48	158	206	95	163	258	10
	市街地南部	497	3		3	29	5	34	32	97	129	64	102	166	6
	芳 野 地 区	304	2		2	31		31	38	28	66	71	28	99	2
	古 谷 地 区	260	6	1	7	34	1	35	10	22	32	50	24	74	3
	南古谷地区	393			0	32	1	33	23	47	70	55	48	103	5
	高 階 地 区	496	7		7	53	7	60	29	35	64	89	42	131	10
	福 原 地 区	434	10		10	53	4	57	43	66	109	106	70	176	10
	大 東 地 区	635	7		7	59	4	63	45	94	139	111	98	209	10
	山 田 地 区	243			0	18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名 細 地 区	560			0	62	7	69	52	59	111	114	66	180	12
	霞ヶ関地区	903	10		10	54	1	55	100	72	172	164	73	237	13
	小 計	5,601	64	1	65	453	37	490	434	705	1,139	951	743	1,694	82
川 島 町	中 山 地 区	149			0	11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊 草 地 区	96			0	13	3	16	18	16	34	31	19	50	2
	三保谷地区	73			0	3		3	5	10	15	8	10	18	2
	出 丸 地 区	57			0	3		3	3	7	10	6	7	13	0
	八ッ保地区	74			0	1	1	2	3	12	15	4	13	17	1
	小見野地区	53			0	9		9	4	3	7	13	3	16	0
	小 計	502	0	0	0	40	9	49	53	129	182	93	138	231	7
合 計		6,103	64	1	65	493	46	539	487	834	1,321	1,044	881	1,925	89

警防関係各種届出状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

届出区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届	10	4	13	17	8	13	27	24	42	20	16	9	203
煙火打上げ・仕掛け届			1			1	1	1	2				6
水道断減水届	7	26	25	5	3	1			3		1	2	73
道路工事届	42	26	58	55	50	61	55	50	42	84	57	57	637
合 計	59	56	97	77	61	76	83	75	89	104	74	68	919

事業所消防訓練派遣状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

事業所別 \ 訓練	消 火 訓 練		通 報 訓 練		避 難 訓 練		総 合 訓 練		合 計	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
百 貨 店							1	10	1	10
学 校	3	732	1	162	6	1,713	9	2,332	19	4,939
工 場・作 業 場	1	7	1	7	1	7	11	1,415	14	1,436
そ の 他	11	201	8	157	10	385	110	7,953	139	8,696
合 計	15	940	10	326	17	2,105	131	11,710	173	15,081

※表中の数値は、消防職員を派遣した事業所の消防訓練の回数と、当該訓練に参加した事業所の関係者の延人員です。

中高層建築物の状況

令和4年4月1日現在

階 数 防火対象物		4階		5階		6階		7階		8階		9階		10階		11階		12階		13階		14階		15階		合 計
		川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	計
1	イ 劇場、映画館 演芸場、観覧場																									
	ロ 公会堂、集会場	3 (1)																								3 (1)
2	イ キャバレー、カフェー ナイトクラブ																									
	ロ 遊技場、 ダンスホール	3		1 (1)																						4 (1)
	ハ 風俗関連特殊営業 を営む店舗																									
	ニ カラオケボックス、複合 カフェ、個室ビデオ等			1 (1)																						1 (1)
3	イ 待合、料理店																									
	ロ 飲食店	2		3		1 (1)																				6 (1)
4	百貨店、マーケット、店舗	6 (3)		3 (1)			1																			10 (4)
5	イ 旅館、ホテル 宿泊所	40 (12)		19 (6)		7 (2)	2		3		1		2 (1)		2				1							77 (21)
	ロ 寄宿舎、下宿 共同住宅	193 (107)		217 (51)	1	49 (18)	34 (12)		41 (17)		19 (11)		20 (11)		18 (10)		8 (3)		5 (2)		15 (5)		21 (6)			641 (253)
6	イ 病院、診療所 助産所	16 (4)		9 (2)		3			1		1		1													31 (6)
	ロ 特別養護老人ホーム 認 知症グループホーム等	7 (3)		2 (1)		2																				11 (4)
	ハ 児童福祉施設、老人 デイサービスセンター等	2 (1)		1 (1)																						3 (2)
	ニ 幼稚園 特別支援学校																									
7	小、中、高、大学校等	74 (6)		19 (3)		5	3						1													102 (9)
8	図書館、博物館 美術館																									
9	イ 蒸気、熱気浴場等																									
	ロ その他の公衆浴場																									
10	車両の停車場等																									
11	神社、寺院、教会																									
12	イ 工場、作業所	34 (2)		7 (2)	2	1			1																	45 (4)
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ																									
13	イ 自動車車庫	4 (1)																								4 (1)
	ロ 格納庫																									
14	倉庫	14 (1)	2	5 (1)	3	1																				25 (2)
15	各項に該当しない 事業所	41 (16)	1	27 (8)	3	10 (1)	8 (3)		5 (1)		2															97 (29)
16	イ 特定用途複合用途防 火対象物	96 (37)	2	56 (21)		39 (15)	23 (10)		14 (3)		9 (4)		2 (1)		3 (1)				1					1 (1)		246 (93)
	ロ その他複合用途防火 対象物	37 (23)	1	20 (10)		11 (5)	1 (3)	5 (3)	4 (3)		1 (1)		2 (2)		1					2						85 (47)
一般住宅																										
合 計		572 (217)	6	390 (109)	9	129 (42)	1 (28)	76 (28)	69 (24)		33 (16)		28 (15)		24 (11)		8 (3)		7 (2)		17 (5)		22 (7)			1,391 (479)

※ ()内数値は、はしご車部署不能数

※ 防火対象物の別覧については、消防法施行令別表第1参照

火災出場の状況

令和3年中

署所 月	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
1月	5	15	3	19	1	7	3	21	1	7	2	17	3	14	4	30	1	7	23	137
2月	8	24	7	46			7	74	3	22	4	25	2	12	4	42			35	245
3月	1	3									1	3	3	23	1	4	1	4	7	37
4月	7	22	5	23			6	70	6	41	7	50	3	14	3	10	1	7	38	237
5月	3	9	4	20			2	24	2	14	4	25	3	26	2	22			20	140
6月	1	3	1	4			1	11	1	6	2	14	1	4					7	42
7月	1	3					1	11	2	10	1	7							5	31
8月	3	9	3	12	1	6	1	21	1	7	1	6	1	8	2	14			13	83
9月	8	24	6	42	1	6	5	28	1	3	3	14			6	37	4	26	34	180
10月							1	4											1	4
11月	3	9	3	14	1	7	3	32	3	17	3	20	1	7	1	7			18	113
12月	9	27	8	44			5	36	3	19	4	28	3	22	8	66	3	19	43	261
合計	49	148	40	224	4	26	35	332	23	146	32	209	20	130	31	232	10	63	244	1,510

その他出場の状況

令和3年中

署所 種別	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
風 水 害 等																			0	0
演 習 ・ 訓 練	16	45	6	33	13	61			1	3	7	23	8	37			12	97	63	299
広 報 ・ 指 導	4	5	146	536	38	115	19	66	81	286	22	65	8	30	95	340	70	256	483	1,699
警 防 調 査			84	316	53	171	66	244	64	217	61	203	55	206	54	178	49	183	486	1,718
火 災 調 査	56	143	13	47	2	15	5	18	8	35	9	42	14	69	5	21	9	39	121	429
特 別 警 戒			7	27	1	3	89	322	3	10	79	277			55	195	44	165	278	999
オリンピック 現地特別警戒	11	249																	11	249
捜 索			7	31									4	28	2	21			13	80
予 防 査 察	183	366	277	831	77	231	155	465	39	117	58	174	176	528	65	195	167	501	1,197	3,408
誤 報 等	18	55	130	554	8	39	21	124	37	178	44	218	14	62	29	157	10	55	311	1,442
そ の 他	30	90	234	943	746	2,069	300	1,221	315	1,204	395	1,087	230	878	133	542	126	493	2,509	8,527
合 計	318	953	904	3,318	938	2,704	655	2,460	548	2,050	675	2,089	509	1,838	438	1,649	487	1,789	5,472	18,850

※消防局のオリンピック現地特別警戒の回数及び延人員は、各消防署及び各分署の数値が含まれています。

現有消防機器

令和4年4月1日現在

区 分 \ 器 具		署 所									合 計
		消 防 局	川 越 北 消 防 署	南 古 谷 分 署	川 越 中 央 消 防 署	高 階 分 署	大 東 分 署	川 越 西 消 防 署	名 細 分 署	川 島 消 防 署	
放水器具	ガンタイプノズル		5	5	11	5	6	8	7	5	52
	無反動ノズル		7	5	6	7	8	11	4	4	52
	放水銃		3		3	1	1	1			9
	東消式簡易発泡器		1	1	1		1				4
	ピックアップ式泡ノズル			1				1	1	1	4
	エアフォームノズル		3		3		3				9
救助器具	救命索発射銃				1				1	1	3
	可搬式ウインチ		2		1				1	3	7
	油圧ジャッキ				2				2	1	5
	マット型空気ジャッキ				1				1	1	3
	大型油圧スプレッダー				1				1	1	3
	画像探索機				1						1
	簡易画像探索機				1				1	1	3
	熱画像直視装置	1	2	1	2	1	1	1	2	2	13
	地中音響探知機				1						1
	夜間用暗視装置				2				1	1	4
	二酸化炭素探査装置				1						1
	地震警報器				1						1
	電磁波探査装置				2						2
破壊器具	エンジンカッター		2	1	4	1	1	2	3	2	16
	チェーンソー		2	1	3	1	1	2	2	3	15
	大型油圧切断機				1				1	1	3
	エアカッター				2				2		4
	エアソー				1				1	2	4
	ハンマードリル				2				3	2	7
	削岩機				1				1	1	3
	酸素溶断機				1				1	1	3
水難救助器具	救命ボート		1	1	1				3	1	7
	船外機		1	1	1				2	1	6
	潜水器具								15		15
	人命検索スバリ		5	2	2				1	2	12
身体保護器具	空気呼吸器	2	16	10	25	15	11	19	16	16	130
	酸素呼吸器				5				5	5	15
	陽圧式化学防護服				15				5	5	25
	耐熱防護服		2	2	4	2	2	2	2	2	18
	放射線防護服				5				5	5	15
	耐電用防護服		4		6	4		4	2	2	22
測定器	ガス検知器		1	1	2	1	1	1	2	2	11
	放射線測定器		3	2	5	1	1	2	4	4	22
	ポケット線量計		5	5	15	5	5	5	13	10	63
その他	除染シャワー		2		1				1		4
	除染材散布器		2		4				2		8
	エアーテント		2	2					3		7

指

令

無線局一覽

令和4年4月1日現在

基地局名称	移動局	アナログ種別	デジタル種別	出 力		通信方式
かわごえしょうぼう デジタル基地局 1 (12装置)	車両無線機 積載台数56台	1 署活系 2 共通	1	アナログ無線 署活携帯 1W	デジタル基地局 10W	アナログ 1波単信
	デジタル移動局 121局		統制波 2			
	(車載57局)、(可搬10局)		3			
	(携帯54局)		主運用波		デジタル移動局	デジタル
	アナログ移動局 93局 (署活93局)		1 活動波 2 3		署活携帯 1W 車載 5W 可搬 5W 携帯 2W	2波複信

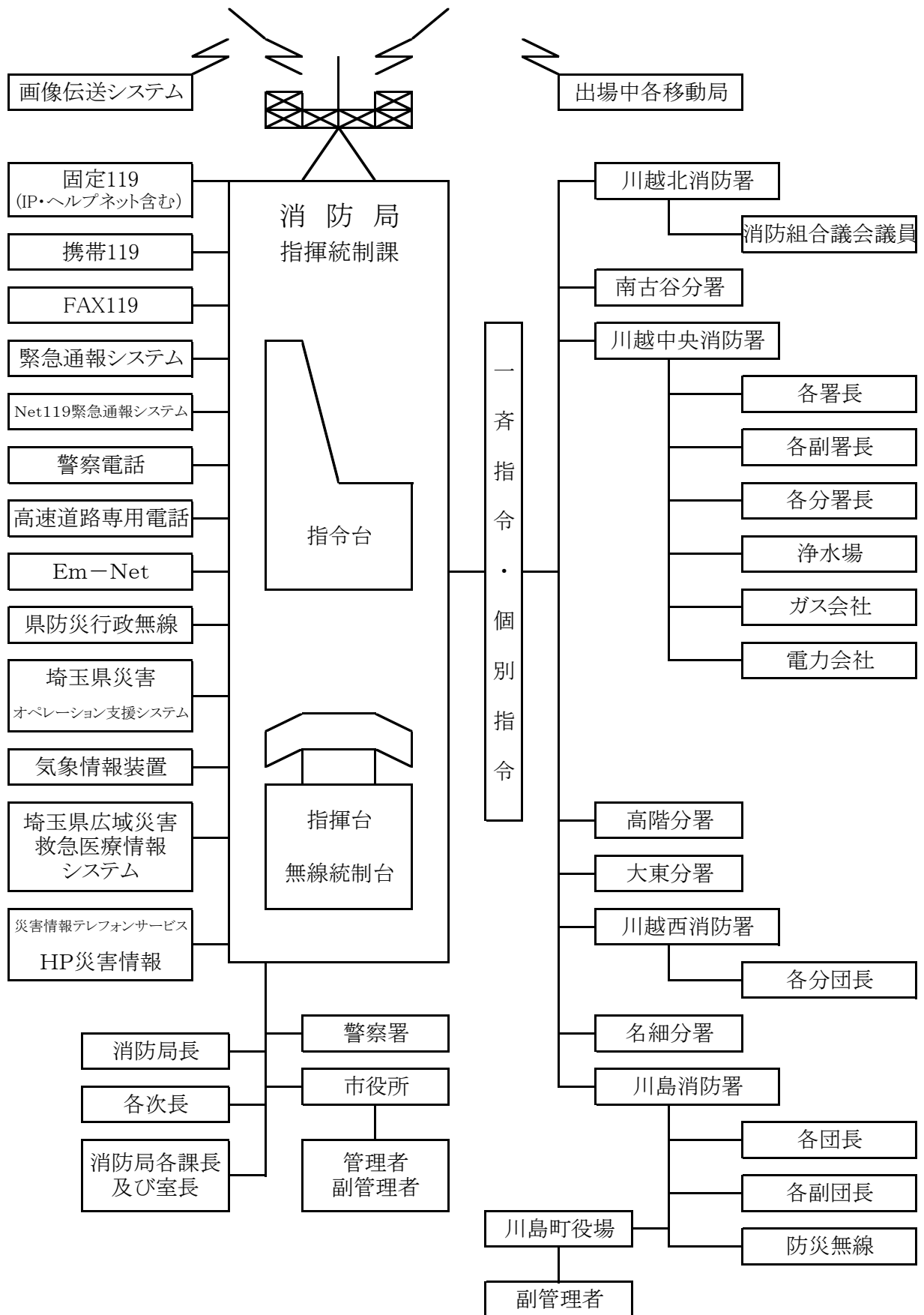
移動局呼出名称

[illegible]

移動局(署活系無線機)呼出名称

署所			番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称		
消防局	1	かわごえしき	10	1	かわごえちゅうおう	10	6	だいとう	30	1	かわじま	10
	2	かわごえしき	11	2	かわごえちゅうおう	11	7	だいとう	31	2	かわじま	11
	3	かわごえしき	12	3	かわごえちゅうおう	12	8	だいとうきゅうきゅう	10	3	かわじま	12
	4	かわごえちゅうさ	10	4	かわごえちゅうおう	20	9	だいとうきゅうきゅう	11	4	かわじま	20
	5	かわごえちゅうさ	11	5	かわごえちゅうおう	21				5	かわじま	21
	6	かわごえしれい	10	6	かわごえちゅうおう	30	1	かわごえにし	10	6	かわじまきゅうじょ	10
	7	かわごえしれい	11	7	かわごえちゅうおう	31	2	かわごえにし	11	7	かわじまきゅうじょ	11
	8	かわごえしれい	12	8	かわごえちゅうおう	32	3	かわごえにし	12	8	かわじまきゅうきゅう	10
	9	かわごえしれい	13	9	かわごえちゅうおう	33	4	かわごえにし	20	9	かわじまきゅうきゅう	11
	10	かわごえしれい	14	10	かわごえちゅうおうきゅうじょ	10	5	かわごえにし	21			
	11	かわごえしれい	15	11	かわごえちゅうおうきゅうじょ	11	6	かわごえにし	30			
川越北消防署	1	かわごえきた	10	12	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	10	7	かわごえにし	31			
	2	かわごえきた	11	13	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	11	8	かわごえにし	32			
	3	かわごえきた	12	14	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	20	9	かわごえにし	33			
	4	かわごえきた	20	15	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	21	10	かわごえにしきゅうきゅう	10			
	5	かわごえきた	21				11	かわごえにしきゅうきゅう	11			
	6	かわごえきた	30	1	たかしな	10						
	7	かわごえきた	31	2	たかしな	11						
	8	かわごえきた	10	3	たかしな	12	1	なぐわし	10			
	9	かわごえきたきゅうきゅう	11	4	たかしな	20	2	なぐわし	11			
南古谷分署	1	みなみふるや	10	5	たかしな	21	3	なぐわし	12			
	2	みなみふるや	11	6	たかしな	30	4	なぐわし	20			
	3	みなみふるや	12	7	たかしな	31	5	なぐわし	21			
	4	みなみふるや	20	8	たかしなきゅうきゅう	10	6	なぐわしきゅうじょ	10			
	5	みなみふるや	21	9	たかしなきゅうきゅう	11	7	なぐわしきゅうじょ	11			
	6	みなみふるやきゅうきゅう	10	1	だいとう	10	8	なぐわしきゅうきゅう	10			
	7	みなみふるやきゅうきゅう	11	2	だいとう	11	9	なぐわしきゅうきゅう	11			
	8	みなみふるやきゅうきゅう	20	3	だいとう	12	10	なぐわしきゅうきゅう	20			
	9	みなみふるやきゅうきゅう	21	4	だいとう	20	11	なぐわしきゅうきゅう	21			
		みなみふるやきゅうきゅう	20	5	だいとう	21						

消防通信系統図



通信施設の状況

令和4年4月1日現在

	合計	消防局	南古谷 分署	川越中央 消防署	高階分署	大東分署	川越西 消防署	名細分署	川島消防署
		川越北消防署							
指令専用回線	8	1	1	1	1	1	1	1	1
内線専用回線	32	4	4	4	4	4	4	4	4
駆け付け通報装置	8	1	1	1	1	1	1	1	1
119回線 固定電話 (IP・ヘルプネット含む)	8	8							
衛星通信専用回線	2	2							
携帯119受信回線	4	4							
携帯119転送回線	2	2							
緊急通報システム	2	2							
一般回線	18	8	1	2	1	1	2	1	2
携帯電話機	38	9	4	6	3	3	4	5	4
衛星可搬端末機	13	5	1	1	1	1	1	1	2
FAX専用回線	12	5	1	1	1	1	1	1	1
指令台専用回線	2	2							
メンテナンス回線	1	1							
警察電話	1	1							
高速道路専用電話	1	1							
災害情報テレフォンサービス	1	1							
市役所庁内電話	4	4							
消防無線電話	214	49	20	34	19	19	24	27	22
ヘリテレ画像受信装置	2	2							
Em-net	3	2							1
Net119緊急通報システム	1	1							
IP無線	2	2							

＊ 災害情報テレフォンサービス

川越地区消防組合管内の火災等の災害情報を提供しています。

電話番号:0180-994-310

119番受信回数

令和3年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合 計	27,404	147	16,896	101	315	421	1,144	1,226	677	723	668	605	4,481
1 月	2,223	13	1,402	11	29	32	47	112	62	40	54	45	376
2 月	1,968	19	1,191	6	24	25	78	95	42	44	43	35	366
3 月	2,261	13	1,324	11	24	37	93	110	43	93	65	42	406
4 月	2,226	19	1,307	7	20	29	125	119	50	29	97	52	372
5 月	2,222	12	1,375	6	18	35	75	122	47	46	46	64	376
6 月	2,158	7	1,328	5	19	37	160	102	52	57	46	42	303
7 月	2,677	8	1,591	11	36	37	213	88	74	41	67	68	443
8 月	2,679	8	1,634	11	26	50	167	97	62	16	26	68	514
9 月	2,162	16	1,283	10	32	44	41	106	67	79	66	45	373
10 月	2,170	3	1,385	4	28	33	64	86	45	83	62	42	335
11 月	2,259	10	1,457	9	21	31	33	102	66	137	53	49	291
12 月	2,399	19	1,619	10	38	31	48	87	67	58	43	53	326

携帯119番受信状況

令和3年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合 計	13,601	60	7,855	56	87	300	1,132	801	333	59	52	573	2,293
1 月	1,028	5	603	7	7	23	46	60	39	1	7	44	186
2 月	940	10	532	3	5	16	78	62	24	2	4	33	171
3 月	1,072	6	580	4	8	27	93	56	17	6	3	41	231
4 月	1,168	12	613	4	6	21	123	88	22	3	22	48	206
5 月	1,159	4	644	4	6	30	75	86	22	3	3	61	221
6 月	1,142	3	633	4	5	29	159	69	29	3	6	39	163
7 月	1,452	3	767	8	13	29	212	58	36	1	1	61	263
8 月	1,472		816	1	6	32	165	58	35	2	1	67	289
9 月	1,011	7	588	6	10	29	40	69	30	12	3	44	173
10 月	1,023	1	657	2	5	21	61	66	20	5	1	40	144
11 月	1,029	2	662	7	6	20	33	65	27	16	1	45	145
12 月	1,105	7	760	6	10	23	47	64	32	5		50	101

緊急通報システム受信状況

令和3年中

種	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災														0
救 急		2	3	4	15	8	4	7	7	8	2	4	10	74
警戒等		10	2	2	3	3	3	9	3	1	3	3	1	43
相 談		7	3	6	5	2	1	7	1	1	2	1		36
その他	誤 報	19	8	13	15	20	13	16	11	21	11	13	12	172
	テスト通報	28	32	23	116	20	13	16	302	262	278	35	59	1,184
	電池切れ	5	4	6	6	1	4	8	3	3	3	3	2	48
	その他	2	3		2	1	3	1	1		1		1	15
合 計		73	55	54	162	55	41	64	328	296	300	59	85	1,572

病院照会に関する記録

令和3年中

	119番	携帯119番	一般加入	その他	合 計
小児科	3	36	1		40
内 科	47	99	7		153
歯 科	2	5	1		8
産婦人科	2	2	1		5
外 科	18	58	6		82
耳鼻科	4	11	1		16
眼 科	9	13			22
脳外科	6	23	2		31
その他	30	53	8		91
小 計	121	300			
合 計	421		27	0	448

気象状況表

令和3年中

区 分 月	温度(℃)			湿度(%)			
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均実効湿度
1月	16.8	-6.0	4.1	93.8	12.5	53.5	53.3
2月	22.1	-2.8	6.9	95.8	14.1	45.7	46.3
3月	24.5	1.2	11.7	97.2	18.0	55.7	54.0
4月	26.3	4.9	14.6	96.6	6.9	52.5	52.6
5月	30.4	9.2	19.3	98.0	12.7	67.0	66.0
6月	32.0	15.9	22.9	97.4	23.3	72.2	71.2
7月	36.6	19.1	26.1	98.0	34.9	78.6	78.8
8月	37.5	18.0	27.5	97.2	33.8	76.3	76.1
9月	32.3	15.1	22.1	97.2	27.5	77.9	77.9
10月	30.8	6.0	17.7	96.3	27.4	72.5	72.8
11月	22.1	1.0	12.3	96.9	21.1	65.4	65.7
12月	20.3	-4.4	6.6	95.8	16.3	58.0	58.6
	年最高	年最低	年平均	年最高	年最低	年平均	年平均
	37.5	-6.0	16.0	98.0	6.9	64.7	64.6

令和3年中

区 分 月	風速(m/s)		降雨(mm)		
	最大	平均	降雨日	降雨量	日最高
1月	20.3	1.8	4	35.0	18.0
2月	19.8	2.4	2	49.5	47.0
3月	23.4	2.6	8	143.0	73.5
4月	18.3	2.6	8	48.5	22.5
5月	17.7	2.1	15	80.5	25.0
6月	14.5	2.1	14	152.5	38.0
7月	18.2	1.8	17	275.0	62.5
8月	20.3	2.2	13	197.0	44.0
9月	10.2	1.7	14	143.5	38.5
10月	15.6	1.9	10	119.5	58.0
11月	16.2	1.4	6	64.0	38.0
12月	24.8	2.1	6	94.5	51.0
	年最大	年平均	合計	合計	日最高
	24.8	2.1	117	1,402.5	73.5

火

災

令和3年中の火災概要

1 火災件数

令和3年中の火災件数は84件で、前年に比較して9件増加している。

また、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は約2.3件となっている。

火災種別の構成比は、建物火災が全体の約59.5%(50件)で、最も高い比率を占めている。

次いで、その他火災(屋外のゴミ屑や枯草等)の約27.4%(23件)、車両火災の約13.1%(11件)となっている。

特に建物火災50件のうち、住宅・共同住宅における火災が58.0%(29件)を占めている。

2 損害額

損害額は1億8,387万1千円で、前年と比較し1,162万円の増加となり、このうち建物火災の損害額は1億7,666万8千円で、全体の約96.1%を占めている。

なお、建物火災の損害額は、建物火災1件あたり約353万3千円で、1日あたりでは約48万4千円となっている。

3 建物焼損面積

建物焼損床面積は1,875㎡で、前年と比較して548㎡の増加となり、建物火災1件あたりの焼損床面積は約37.5平方メートルで、前年と比較して12.9㎡の増加となっている。

4 出火原因

出火原因は多い順に、たばこが12件(約14.2%)、放火が9件(約10.7%)、電灯・電話等の配線及びたき火が各6件(約7.1%)となっている。

5 死傷者

火災による死者は3人発生し、前年と比較して1人の増加となっている。

負傷者は6人発生し、前年と比較して8人の減少となっている。

火災の概況

令和3年中

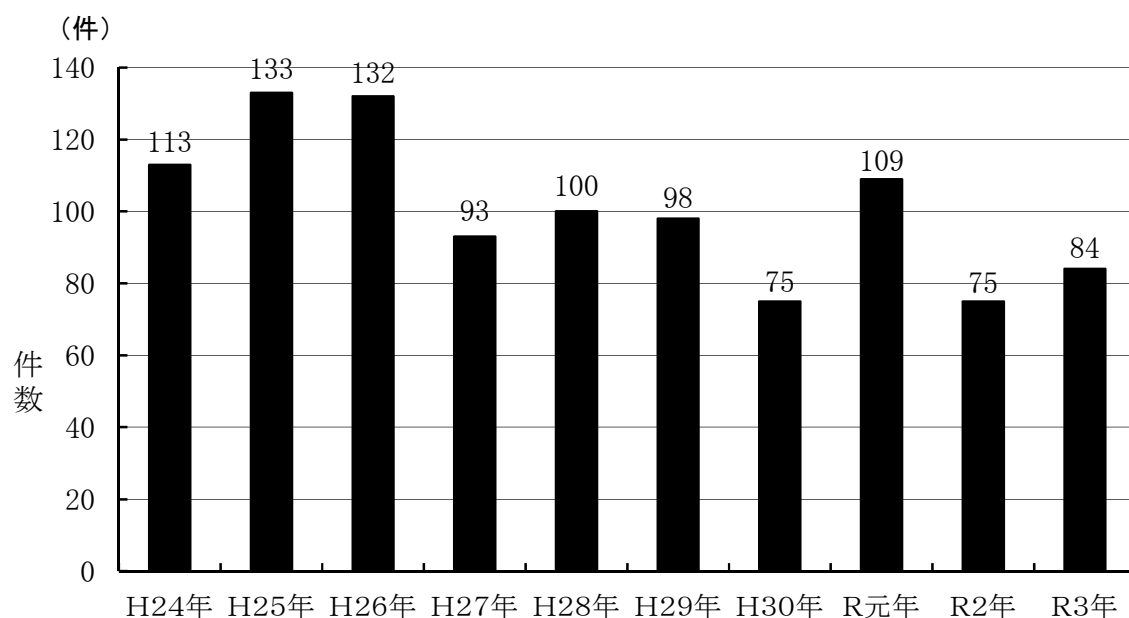
			川 越 地 区	川 越 市	川 島 町
火 災 件 数			84 件	74 件	10 件
	建 物		50 件	44 件	6 件
	林 野		0 件	件	件
	車 両		11 件	9 件	2 件
	船 舶		0 件	件	件
	航 空 機		0 件	件	件
	そ の 他		23 件	21 件	2 件
	焼 損 棟 数			68 棟	59 棟
	全 焼		18 棟	16 棟	2 棟
	半 焼		2 棟	1 棟	1 棟
	部 分 焼		22 棟	17 棟	5 棟
	ぼ や		26 棟	25 棟	1 棟
建物焼損床面積			1,875 m ²	1,423 m ²	452 m ²
建物焼損表面積			140 m ²	80 m ²	60 m ²
林野焼損面積			0 a	a	a
死 傷 者			9 人	9 人	人
	死 者		3 人	3 人	人
	負 傷 者		6 人	6 人	人
り 災 世 帯			45 世帯	41 世帯	4 世帯
	全 損		11 世帯	10 世帯	1 世帯
	半 損		1 世帯	1 世帯	世帯
	小 損		33 世帯	30 世帯	3 世帯
り 災 人 員			97 人	89 人	8 人
損 害 額			183,871 千円	153,451 千円	30,420 千円
	建 物	建 築 物	112,583 千円	90,571 千円	22,012 千円
		収 容 物	64,085 千円	56,627 千円	7,458 千円
	林 野		0 千円	千円	千円
	車 両		4,517 千円	3,567 千円	950 千円
	航 空 機		0 千円	千円	千円
	そ の 他		2,686 千円	2,686 千円	千円
出 火 率			2.3 件	2.1 件	5.1 件

※ 出火率は人口1万人当りの火災件数

火災件数の推移（１０年間）

各年

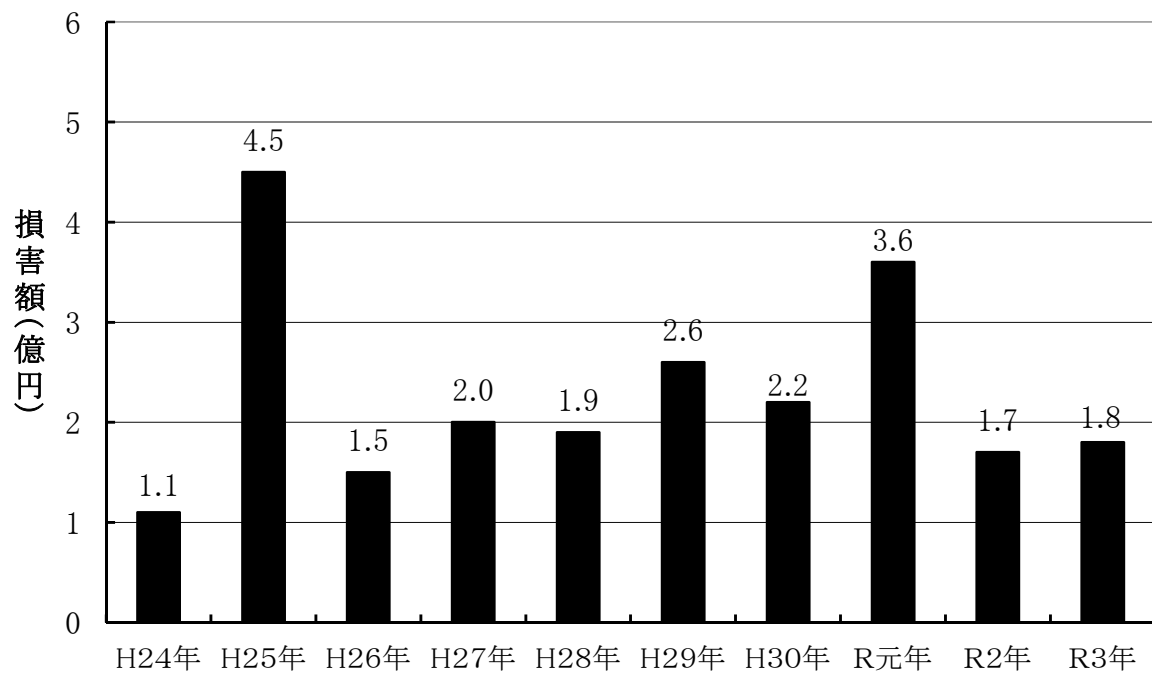
	川 越 地 区							川 越 市							川 島 町						
	件	建	林	車	船	航	そ	件	建	林	車	船	航	そ	件	建	林	車	船	航	そ
	数	物	野	両	舶	空	の	数	物	野	両	舶	空	の	数	物	野	両	舶	空	の
H24年	113	60		12			41	90	49		9			32	23	11		3			9
H25年	133	70		7			56	114	66		7			41	19	4					15
H26年	132	62		15			55	118	52		14			52	14	10		1			3
H27年	93	49		8			36	75	42		8			25	18	7					11
H28年	100	51		14			35	87	44		13			30	13	7		1			5
H29年	98	60		6			32	82	54		4			24	16	6		2			8
H30年	75	38		13			24	65	34		11			20	10	4		2			4
R元年	109	65		10			34	88	59		7			22	21	6		3			12
R2年	75	54		8			13	64	47		6			11	11	7		2			2
R3年	84	50		11			23	74	44		9			21	10	6		2			2



火災損害状況の推移（１０年間）

各年（単位：千円）

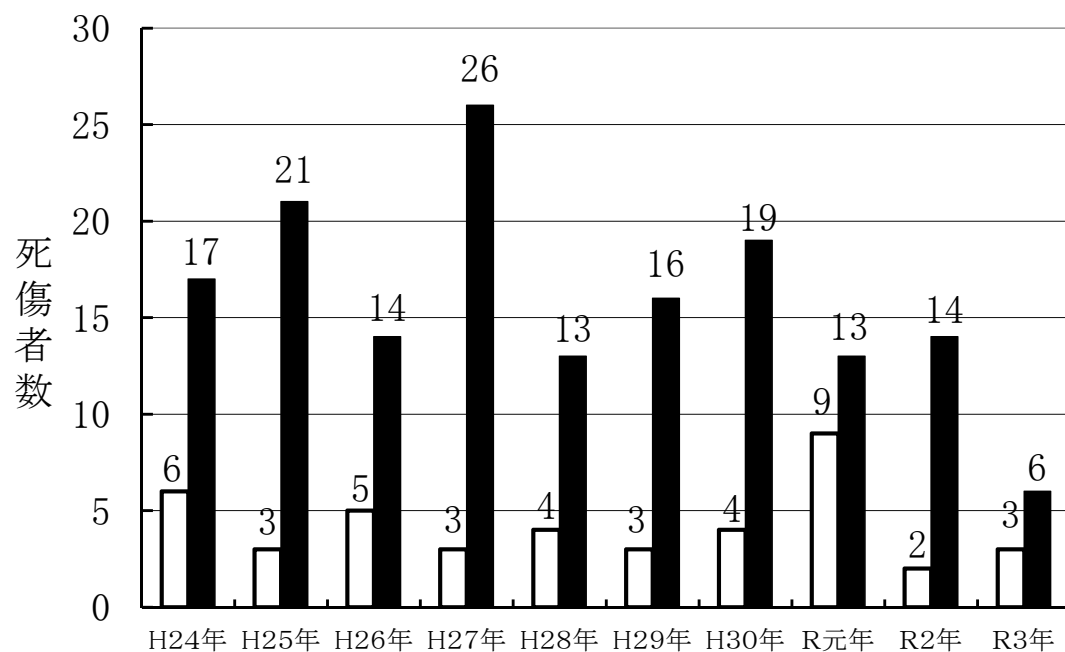
	川越地区	川越市	川島町
H24年	106,167	97,283	8,884
H25年	446,486	437,757	8,729
H26年	150,795	109,810	40,985
H27年	200,017	188,405	11,612
H28年	189,396	159,212	30,184
H29年	262,990	224,956	38,034
H30年	215,475	155,279	60,196
R元年	355,364	313,055	42,309
R2年	172,251	161,641	10,610
R3年	183,871	153,451	30,420



火災による死傷者の推移（１０年間）

各年(単位:人)

	川越地区		川越市		川島町	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H24年	6	17	6	13		4
H25年	3	21	3	21		
H26年	5	14	5	13		1
H27年	3	26	3	24		2
H28年	4	13	4	12		1
H29年	3	16	2	15	1	1
H30年	4	19	3	18	1	1
R元年	9	13	9	11		2
R2年	2	14	2	14		
R3年	3	6	3	6		



□川越地区死者 ■川越地区負傷者

地区別の出火原因

令和3年中(単位:件)

	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島	合計
たばこ	4				1	1	2			3	1	12
こんろ	3				1				1			5
かまど												0
風呂かまど												0
炉	1											1
焼却炉												0
ストーブ	1				1			1		1	1	5
こたつ												0
ボイラー												0
排気管											1	1
電気機器			1		1						1	3
電気装置	2									2		4
電灯・電話等の配線						2		1		2	1	6
内燃機関												0
配線器具	1			1								2
火あそび												0
マッチ・ライター	1											1
たき火						2				2	2	6
溶接機・切断機												0
灯 火									1			1
衝突の火花												0
取 灰												0
火 入 れ												0
放 火	3					1		1	3	1		9
放火の疑い				1				1		1		3
その他	3		1			3	5	2	1	6	3	24
不 明										1		1
合 計	19	0	2	2	4	9	7	6	6	19	10	84

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数の推移（１０年間）

各年

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
たばこ	9	9	5	10	10	13	8	17	8	12
こんろ	12	10	9	10	3	9	5	2	8	5
かまど								2		
風呂かまど										
炉						1				1
焼却炉	4	4	1			3	1	1	1	
ストーブ	3	1	4	4	1	5	2	5	4	5
こたつ										
ボイラー	1									
排気管		2	4		7	1	3	2	1	1
電気機器	1	3	1	2	2	3	2	8	6	3
電気装置	2	1	1	2		1	1	2	1	4
電灯・電話等の配線	4	2	2	3	2	3	3	8	3	6
内燃機関	2								1	
配線器具	3	5	7	1	2	5	4	3	2	2
火あそび	2	3	1	1		2	2	1	3	
マッチ・ライター	3	3	3	1		1	1		1	1
たき火						1		6	1	6
溶接機・切断機	2				1		1			
灯 火	2	4		1	1		1	1	3	1
衝突の火花	1	1		1		1	1			
取 灰	1	1			1		1			
火 入 れ	6	7	3	3	4	4	2	6	2	
放 火	7	6	36	12	22	10	11	10	6	9
放火の疑い	15	33	21	16	16	12	5	5	5	3
そ の 他	27	29	23	17	19	18	15	25	15	24
不 明	6	9	11	9	9	5	6	5	4	1
合 計	113	133	132	93	100	98	75	109	75	84

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

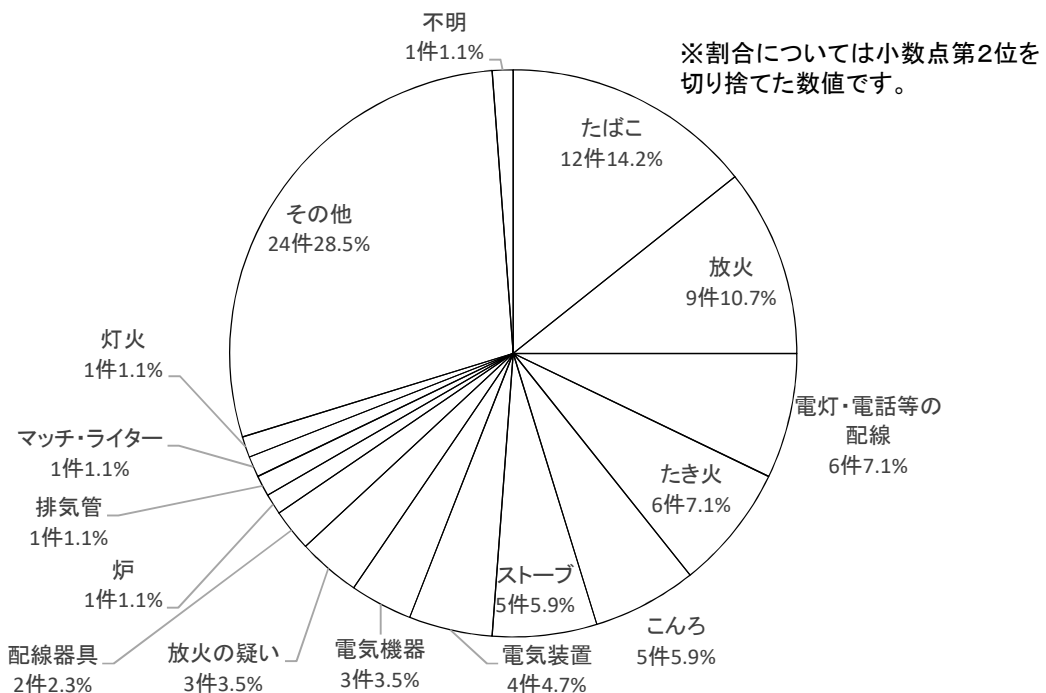
出火原因別火災件数

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ	1	3	1	4	1			1				1	12
こんろ	1			1	2						1		5
かまど													0
風呂かまど													0
炉							1						1
焼却炉													0
ストーブ	1			1	1							2	5
こたつ													0
ボイラー													0
排気管				1									1
電気機器									3				3
電気装置								2	1			1	4
電灯・電話等の配線				2	1				2			1	6
内燃機関													0
配線器具		1						1					2
火遊び													0
マッチ・ライター											1		1
たき火	1	1	3	1									6
溶接機・切断機													0
灯火	1												1
衝突の火花													0
取灰													0
火入れ													0
放火	1	1		2		1	2	1	1				9
放火の疑い	1	1									1		3
その他	3	2	1	2	1	2	1	2	2		3	5	24
不明		1											1
合計	10	10	5	14	6	3	4	7	9	0	6	10	84

※その他とは落雷等、上記項目に該当しないもの。

原因別火災発生状況



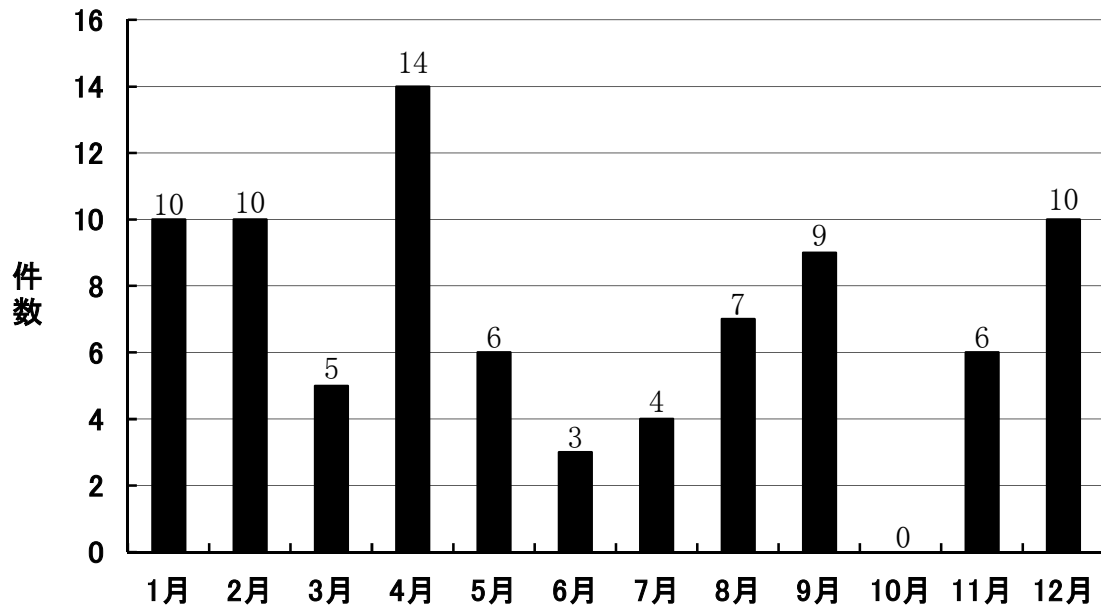
月別火災概況

令和3年中

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	建物	件	6	6		6	6	1	2	4	5		6	8	50
	林野														0
	車両		2	2	1	1				1	3			1	11
	船舶														0
	航空機														0
	その他		2	2	4	7		2	2	2	1			1	23
	合計	件	10	10	5	14	6	3	4	7	9	0	6	10	84
建物	焼損床面積	㎡	40	428		443	2		2	17	660		1	282	1,875
	焼損表面積		2	37		22	1		2		65		3	8	140
死傷者	死者	人		1						1				1	3
	負傷者		1	1			1				2			1	6
	合計	人	1	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	2	9
り災世帯		世帯	4	17		3	5		1	2	4		6	3	45
り災人員		人	9	33		8	8		2	6	9		17	5	97

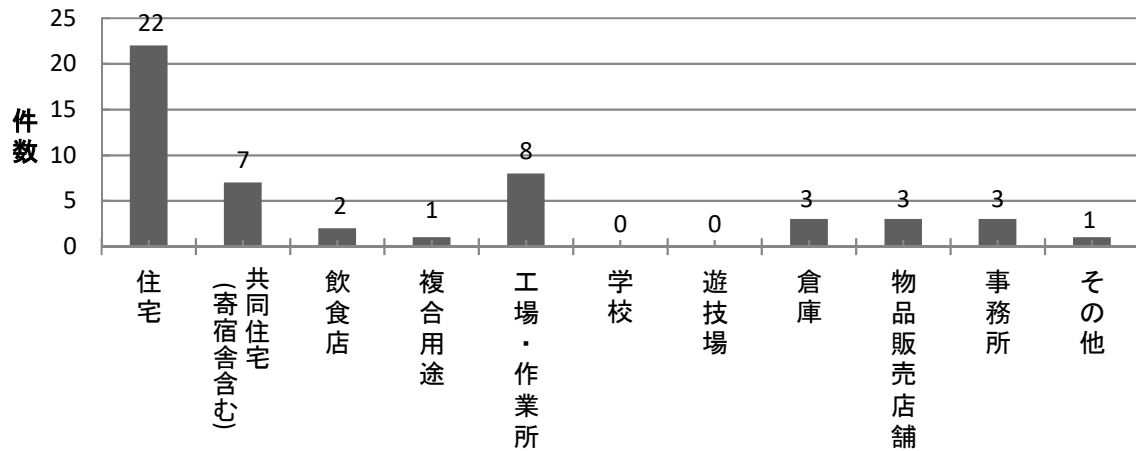
月別火災件数

令和3年中



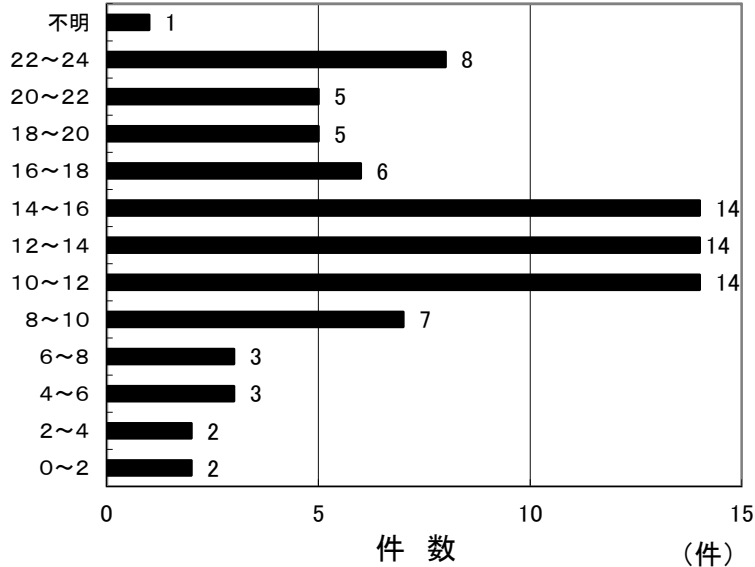
建物用途別火災件数

令和3年中



時間別火災発生件数

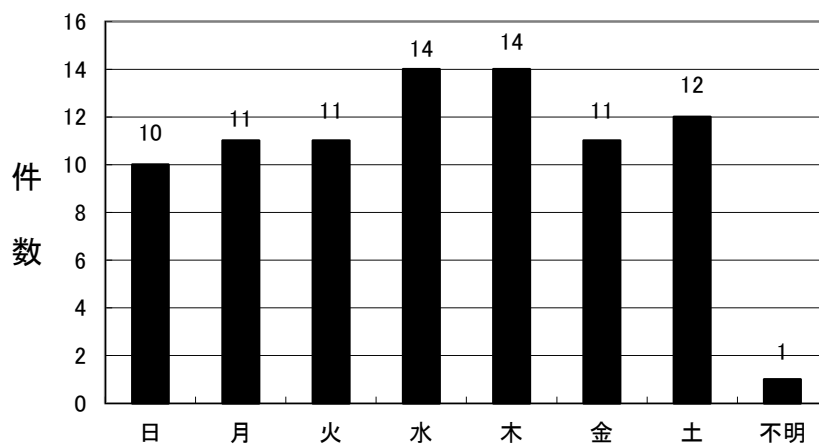
令和3年中



時間	件数
0~2	2
2~4	2
4~6	3
6~8	3
8~10	7
10~12	14
12~14	14
14~16	14
16~18	6
18~20	5
20~22	5
22~24	8
不明	1
合 計	84

曜日別火災発生件数

令和3年中



曜日	件数
日	10
月	11
火	11
水	14
木	14
金	11
土	12
不明	1
合 計	84

救急・救助

令和3年中の救急・救助の概要

1 救急の概要

令和3年中の救急出場件数は、17,043件(前年16,226件)、搬送人員14,115人(前年13,633人)で、前年に比較し救急出場件数は817件(5.0%)、搬送人員は482人(3.5%)増加しています。

また、一日の平均出場件数は46.7件(前年44.3件)で、約30.8分に1回(前年32.5分に1回)の割合で出場し、住民26.4人に1人(前年27.4人に1人)が搬送されたことになります。

(1) 事故種別の状況

事故種別の構成比は、急病が全体の64.1%(10,932件)で、最も高い比率を占めている。次いで、一般負傷13.7%(2,339件)、その他11.1%(1,893件)となっており、11種類に分類される救急事故の中で、急病と一般負傷が全体の77.8%を占めている。

(2) 署所別の状況

署所別の構成比は、川越中央消防署27.4%(4,672件)、高階分署13.3%(2,264件)、川越北消防署12.6%(2,147件)、川越西消防署11.2%(1,913件)に次いで大東分署11.2%(1,908件)、次いで名細分署、南古谷分署、川島消防署となっており、8署のうち7署で年間出場件数が1,000件を超えている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関(接骨院等を含む。以下同じ。)へ搬送された傷病者は14,115人で、このうち、74.0%(10,452人)が組合管内12の救急病院へ、2.6%(369人)が組合管内の救急病院以外の医療機関へ、23.3%(3,294人)が組合管外の医療機関へ搬送された。

(4) 時間別救急出場件数

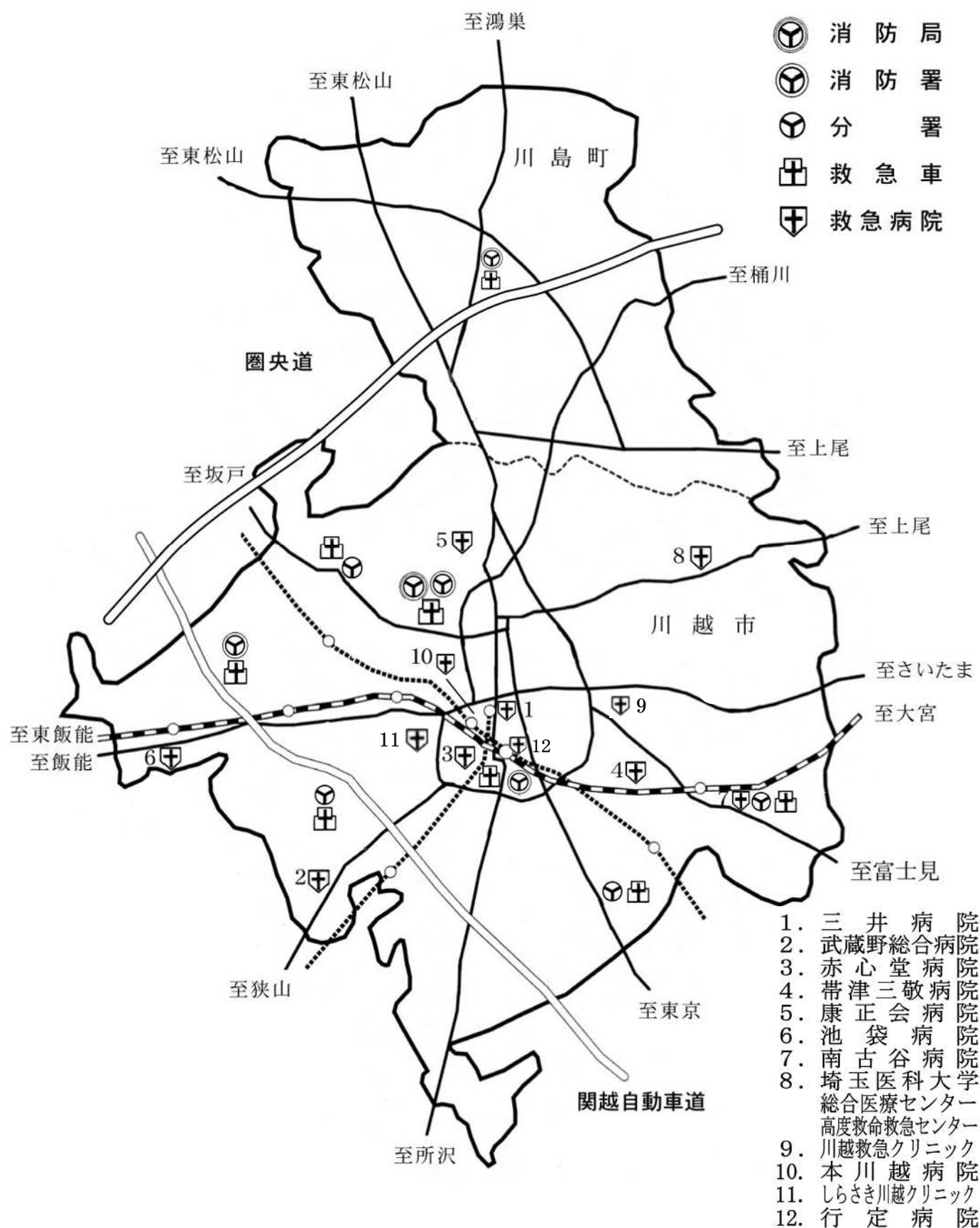
時間別救急出場件数は、10時～12時が2,075件、12時～14時が2,014件、8時～10時が1,973件の順となっている。また、一番少ない時間帯は2時～4時で609件となっている。

2 救助の概要

令和3年中の救助出場件数は201件(前年171件)、救助活動件数は152件(前年130件)で、前年と比較して、出場件数が30件(約17.5%)増加し、救助活動件数が22件(約16.9%)の増加となっている。

救助活動件数の事故種別の構成比は、建物火災が約24.3%(37件)、交通事故が約17.1%(26件)、建物以外の火災が約11.8%(18件)、建物等による事故が約4.6%(7件)、水難事故と機械による事故がそれぞれ約1.9%(3件)、その他が約38.1%(58件)となっている。

救急車の配置及び救急病院配置図



救 急 活 動

救急活動の推移（１０年間）

各年

出 場 年	搬 送	事故種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
H24	出場件数		72	1	8	1,709	144	121	1,954	110	204	9,611	1,675	15,609 [2,111]
	搬送人員		19	1	2	1,708	144	124	1,760	88	142	8,345	1,333	13,666
H25	出場件数		95	2	11	1,746	153	129	2,039	97	171	9,735	1,562	15,740 [2,288]
	搬送人員		20	2	1	1,694	150	129	1,826	71	102	8,384	1,247	13,626
H26	出場件数		71	1	2	1,664	126	138	2,125	106	183	10,076	1,651	16,143 [2,268]
	搬送人員		11		1	1,642	122	136	1,898	74	122	8,729	1,294	14,029
H27	出場件数		72		6	1,604	128	148	2,161	101	165	10,471	1,772	16,628 [2,396]
	搬送人員		23		2	1,557	124	146	1,931	75	93	9,033	1,396	14,380
H28	出場件数		67	1	5	1,665	168	158	2,233	121	136	10,759	1,802	17,115 [2,394]
	搬送人員		11	1	4	1,643	165	154	1,989	90	91	9,365	1,375	14,888
H29	出場件数		62	1	6	1,678	148	141	2,299	109	147	10,976	2,045	17,612 [2,495]
	搬送人員		16		2	1,654	145	140	2,046	77	90	9,598	1,535	15,303
H30	出場件数		47	1	7	1,662	176	158	2,416	110	151	11,445	2,063	18,236 [2,744]
	搬送人員		18	1		1,535	172	145	2,164	71	94	9,972	1,475	15,647
R元	出場件数		72	5	4	1,531	169	133	2,446	94	158	11,411	2,095	18,118 [2,784]
	搬送人員		13	2	1	1,448	166	129	2,199	62	93	9,977	1,383	15,473
R2	出場件数		49		5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226 [2,684]
	搬送人員		16			1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633
R3	出場件数		73		2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043 [3,025]
	搬送人員		8			1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115

※ []は不搬送件数

月別救急活動の状況

令和3年中

出 場 月		搬 送	事 故 種 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出場件数		6				99	15	2	211	7	7	894	176	1,417
	搬送人員		1				91	14	2	185	4	3	754	119	1,173
2月	出場件数		14			1	78	9	3	174	3	12	781	128	1,203
	搬送人員		2				75	9	3	148	1	7	681	97	1,023
3月	出場件数		3				101	5	6	195	2	17	842	153	1,324
	搬送人員						89	5	6	175	1	10	714	104	1,104
4月	出場件数		8				131	14	7	176	7	10	831	133	1,317
	搬送人員						111	14	7	161	5	10	706	93	1,107
5月	出場件数		8				108	13	11	181	5	18	889	161	1,394
	搬送人員		1				104	13	11	157	2	15	742	116	1,161
6月	出場件数		1				86	10	18	153	5	11	881	168	1,333
	搬送人員						79	10	17	127	3	9	751	97	1,093
7月	出場件数		3				112	20	10	191	7	12	1,081	176	1,612
	搬送人員						105	20	10	165	7	8	913	102	1,330
8月	出場件数		5			1	94	22	10	169	4	18	1,157	164	1,644
	搬送人員						88	21	10	154	2	11	938	88	1,312
9月	出場件数		8				106	16	3	165	10	19	852	132	1,311
	搬送人員		2				98	16	3	143	10	11	698	86	1,067
10月	出場件数						114	17	10	223	4	19	867	137	1,391
	搬送人員						102	16	9	194	4	10	733	87	1,155
11月	出場件数		4				140	19	10	228	7	9	886	154	1,457
	搬送人員						122	19	10	202	3	8	757	108	1,229
12月	出場件数		13				125	13	10	273	7	17	971	211	1,640
	搬送人員		2				107	13	8	246	5	14	828	138	1,361
合計	出場件数		73	0	2		1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043
	搬送人員		8	0	0		1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115

事故種別傷病程度別搬送人員

令和3年中

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				4			6		10	190	1	211
重 症	3			39	14		90		25	764	232	1,167
中 等 症				178	64	27	694	4	37	3925	897	5,826
軽 症	5			950	92	69	1267	43	44	4333	105	6,908
そ の 他										3		3
合 計	8	0	0	1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115

※ 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 2 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 3 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 4 軽 症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別年齢区分別搬送人員

令和3年中

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児										6	71	77
乳 幼 児				21		1	98			307	35	462
少 年				93		54	48	2	3	182	18	400
成 人	4			735	134	34	380	39	92	2964	354	4,736
高 齢 者	4			322	36	7	1531	6	21	5756	757	8,440
合 計	8	0	0	1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115

※ 年齢区分は、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少 年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成 人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

署所別救急活動の状況

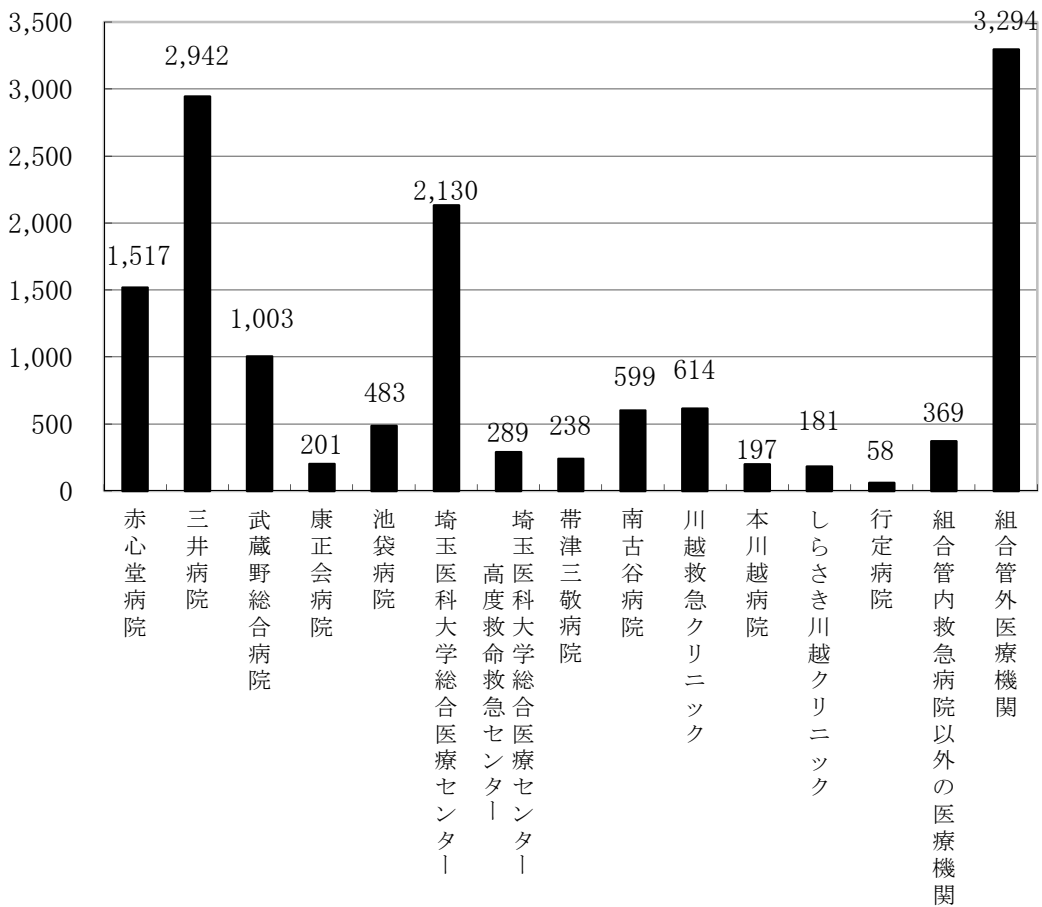
令和3年中

署所	出 場 搬 送	事 故 種 別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
川越北消防署	出場件数		10			178	19	12	299	8	27	1,295	299	2,147
	搬送人員		2			159	19	11	250	3	16	1,080	205	1,745
南古谷分署	出場件数		3			127	13	12	145	4	13	869	239	1,425
	搬送人員					126	13	12	129	3	8	785	197	1,273
川越中央消防署	出場件数		13			355	44	22	681	16	44	2,931	566	4,672
	搬送人員		2			310	43	20	592	12	29	2,372	359	3,739
高階分署	出場件数		6			154	16	5	297	15	10	1,601	160	2,264
	搬送人員		1			140	15	5	263	10	5	1,295	80	1,814
大東分署	出場件数		15		1	149	22	17	273	6	15	1,202	208	1,908
	搬送人員					126	21	16	240	5	11	1,053	129	1,601
川越西消防署	出場件数		11		1	101	18	9	266	10	27	1,278	192	1,913
	搬送人員					91	18	9	238	7	24	1,080	126	1,593
名細分署	出場件数		5			135	19	16	262	8	26	1,207	169	1,847
	搬送人員		3			121	19	16	238	7	20	1,073	109	1,606
川 島消防署	出場件数		10			95	22	7	116	1	7	549	60	867
	搬送人員					98	22	7	107		3	477	30	744
合 計	出場件数		73	0	2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043
	搬送人員		8	0	0	1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115

医療機関別搬送人員

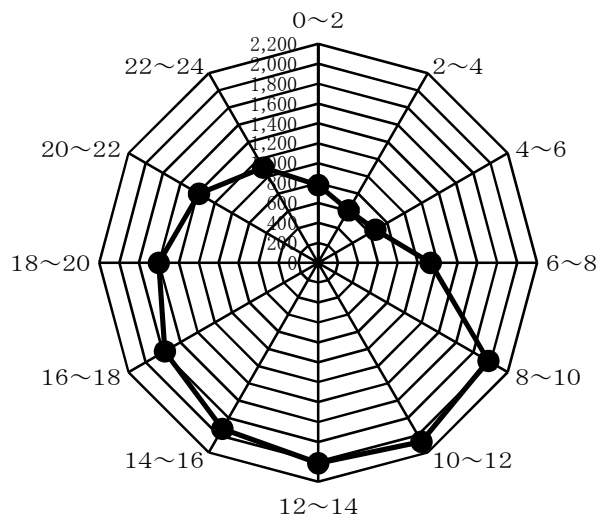
(単位:人)

令和3年中



時間別救急出場件数

令和3年中



時間	救急件数
0～2	780
2～4	609
4～6	662
6～8	1,129
8～10	1,973
10～12	2,075
12～14	2,014
14～16	1,926
16～18	1,782
18～20	1,602
20～22	1,386
22～24	1,105

救命講習実施状況

各年度中

区分 年度	普通救命講習		上級救命講習		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成29年度	182	3,179	3	85	185	3,264
平成30年度	175	3,130	11	214	186	3,344
令和元年度	165	2,866	6	145	171	3,011
令和2年度	25	441	0	0	25	441
令和3年度	83	1,233	0	0	83	1,233

救急講習指導状況

各年度中

区分 年度	救急講習		救命入門コース		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成29年度	187	10,482	49	1,352	236	11,834
平成30年度	249	12,872	49	1,076	298	13,948
令和元年度	190	12,748	31	872	221	13,620
令和2年度	11	341	4	162	15	503
令和3年度	60	1,266	8	228	68	1,494

救 助 活 動

事故種別出場件数、活動件数及び救助人員

令和3年中

事故種別 区 分	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
	建物	建物 以外									
出場件数	37	18	41	4		3	7			91	201
活動件数	37	18	26	3		3	7			58	152
救助人員	3	1	30	1		3	9			46	93

事故種別発生場所別救助人員

令和3年中

事故種別 発生区分		火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	2						8			29	39
	その他の屋内						2	1			4	7
屋 外	道 高速自動車国道											0
	路 その他の道路			23							1	24
	水 内 水 面				1							1
	面 外 水 面											0
	山 岳											0
	その他の屋外	1	1	7			1				12	22
地 下												0
そ の 他												0
合 計		3	1	30	1	0	3	9	0	0	46	93

消 防 団

消防団分団区域図



川越市消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	石原町一丁目、石原町二丁目、大手町、御成町、喜多町、久保町、郭町一丁目、郭町二丁目、小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、幸町、三久保町、志多町、城下町、神明町、末広町一丁目、末広町二丁目、末広町三丁目、間屋町、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、氷川町、松江町一丁目、松江町二丁目、宮下町一丁目、宮下町二丁目、宮元町、元町一丁目、元町二丁目、大字川越、大字小仙波、大字寺井、大字東明寺、大字松郷
第 二 分 団	岸町一丁目、三光町、新富町一丁目、新富町二丁目、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、月吉町、通町、中原町一丁目、中原町二丁目、仲町、富士見町、南通町、連雀町、六軒町一丁目、六軒町二丁目、脇田町、大字大仙波
第 三 分 団	旭町一丁目、旭町二丁目、旭町三丁目、新宿町一丁目、新宿町二丁目、新宿町三丁目、新宿町四丁目、新宿町五丁目、新宿町六丁目、今成一丁目、今成二丁目、今成三丁目、今成四丁目、大塚二丁目の一部(二二番一から二二番一六まで、二二番三四から二二番三七まで、二四番一から二四番一四まで、二四番一八から二四番二〇まで、二五番一から二五番八まで、二五番一九から二五番二四まで、二七番一八、二七番二〇から二七番二五まで、二七番二七、二七番二九、一〇〇番一〇一、一〇〇番一〇二、一〇〇番一一四、一〇〇番一二五、一〇〇番一七一、一〇〇番一七二、一〇〇番二〇七から一〇〇番二一〇まで、一〇四番一八及び一〇四番一九)、上野田町、岸町二丁目、岸町三丁目、広栄町、田町、中台一丁目の一部(一番から五番まで、九番五、一〇〇番一から一〇〇番一まで、一〇〇番一六、一〇〇番二〇、一〇〇番三〇及び一〇〇番三七から一〇〇番三九まで)、中台元町二丁目の一部(一番、二番一から二番一〇まで、二番一二から二番一五まで、二番一七、二番二二から二番二四まで、三番一、三番二、三番五、三番六、三番二一、三番二二、一〇〇番一から一〇〇番五まで及び一〇〇番九)、野田町一丁目、野田町二丁目、東田町、むさし野の一部(一番一から一番八まで、三番一七から三番二四まで、四番一から四番三まで、四番一七から四番二〇まで、一〇〇番八及び一〇〇番一九から一〇〇番二三まで)、脇田新町、脇田本町、大字小ヶ谷、大字大仙波新田、大字岸、大字小室、大字野田
芳 野 分 団	川越市芳野市民センターの所管区域
古 谷 分 団	川越市古谷市民センターの所管区域
南 古 谷 分 団	川越市南古谷市民センターの所管区域
高 階 分 団	川越市高階市民センターの所管区域
福 原 分 団	川越市福原市民センターの所管区域
大 東 分 団	川越市大東市民センターの所管区域
山 田 分 団	川越市山田市民センターの所管区域
名 細 分 団	川越市名細市民センターの所管区域及び川鶴市民センター所管区域の一部(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目)
霞ヶ関分団	川越市霞ヶ関市民センターの所管区域、川鶴市民センターの所管区域(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目を除く。)及び霞ヶ関北市民センターの所管区域

川島町消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	大字中山、大字南園部、大字吹塚、大字北園部、大字正直、大字戸守、大字長楽、八幡一丁目、八幡二丁目、八幡三丁目、八幡四丁目、八幡五丁目、八幡六丁目、かわじま一丁目、かわじま二丁目
第 二 分 団	大字上伊草、大字伊草、大字下伊草、大字角泉、大字安塚、大字飯島
第 三 分 団	大字平沼、大字白井沼、大字紫竹、大字宮前、大字上貉、大字下貉、大字釘無、大字新堀、大字吉原、大字表
第 四 分 団	大字出丸下郷、大字西谷、大字曲師、大字出丸本、大字上大屋敷、大字下大屋敷、大字出丸中郷
第 五 分 団	大字上八ツ林、大字下八ツ林、大字畑中、大字三保谷宿、大字牛ヶ谷戸、大字山ヶ谷戸、大字東野、大字東大塚
第 六 分 団	大字虫塚、大字梅ノ木、大字上小見野、大字下小見野、大字加胡、大字松永、大字谷中、大字鳥羽井、大字一本木、大字芝沼、大字鳥羽井新田、大字東部

消防団員の実員数

(1) 階級別

令和4年4月1日現在

階級 区分		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
川越市	定数	1	4	13	13	13	26	260	330
	実員	1	4	13	13	13	26	194	264
川島町	定数	1	2	6	6	7	13	94	129
	実員	1	2	6	6	7	13	83	118

(2) 川越市消防団本部分団別実員数

令和4年4月1日現在

階級 所属		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部		1	4	1	1	1	2	13	23
第 一 分 団				1	1	1	2	19	24
第 二 分 団				1	1	1	2	15	20
第 三 分 団				1	1	1	2	18	23
芳 野 分 団				1	1	1	2	20	25
古 谷 分 団				1	1	1	2	17	22
南古谷分団				1	1	1	2	15	20
高 階 分 団				1	1	1	2	15	20
福 原 分 団				1	1	1	2	9	14
大 東 分 団				1	1	1	2	11	16
山 田 分 団				1	1	1	2	18	23
名 細 分 団				1	1	1	2	12	17
霞ヶ関分団				1	1	1	2	12	17
合 計		1	4	13	13	13	26	194	264

(3) 川島町消防団本部分団別実員数

令和4年4月1日現在

階級 所属		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部		1	2			1	1	6	11
第 一 分 団				1	1	1	2	13	18
第 二 分 団				1	1	1	2	13	18
第 三 分 団				1	1	1	2	13	18
第 四 分 団				1	1	1	2	14	19
第 五 分 団				1	1	1	2	11	16
第 六 分 団				1	1	1	2	13	18
合 計		1	2	6	6	7	13	83	118

分団別人口世帯の状況

(1) 川越市消防団

令和4年4月1日現在

人口等 所属	定 員	人 口	世帯数	団員1人当り	
				人 口	世帯数
団 本 部	30				
第 一 分 団	25	28,140	13,029	1,126	521
第 二 分 団	25	29,081	15,411	1,163	616
第 三 分 団	25	48,565	23,994	1,943	960
芳 野 分 団	25	5,459	2,229	218	89
古 谷 分 団	25	10,240	4,444	410	178
南古谷分団	25	25,111	10,747	1,004	430
高 階 分 団	25	53,408	25,794	2,136	1,032
福 原 分 団	25	21,073	9,032	843	361
大 東 分 団	25	35,184	15,789	1,407	632
山 田 分 団	25	11,944	5,073	478	203
名 細 分 団	25	30,048	13,930	1,202	557
霞ヶ関分団	25	54,643	24,941	2,186	998
合 計	330	352,896	164,413	1,069	498

(2) 川島町消防団

令和4年4月1日現在

人口等 所属	定 員	人 口	世帯数	団員1人当り	
				人 口	世帯数
団 本 部	15				
第 一 分 団	19	6,471	2,782	341	146
第 二 分 団	19	5,981	2,575	315	136
第 三 分 団	19	1,847	754	97	40
第 四 分 団	19	1,410	543	74	29
第 五 分 団	19	1,913	804	101	42
第 六 分 団	19	1,659	650	87	34
合 計	129	19,281	8,108	149	63

消防団員の勤続年数

(1) 川越市消防団

令和4年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満						2	74	76
5年以上10年未満			2	2	4	4	39	51
10年以上15年未満		1	3	1	3	7	41	56
15年以上20年未満			4	7	4	11	16	42
20年以上25年未満		1	3	2	1	1	13	21
25年以上30年未満	1	1	1	1	1	1	7	13
30年以上		1					4	5
合 計	1	4	13	13	13	26	194	264

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和4年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満							34	34
5年以上10年未満						2	20	22
10年以上15年未満			1	1	2	1	15	20
15年以上20年未満			1	2	2	7	2	14
20年以上25年未満		1	3	3	2	2	11	22
25年以上30年未満		1			1	1	1	4
30年以上	1		1					2
合 計	1	2	6	6	7	13	83	118

(単位:人)

消防団員の年齢

(1) 川越市消防団

令和4年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満							1	1
20歳以上～25歳未満						1	8	9
25歳以上～30歳未満						1	15	16
30歳以上～35歳未満			1	1		2	33	37
35歳以上～40歳未満				1	4	5	27	37
40歳以上～45歳未満		1	5	3	1	4	32	46
45歳以上～50歳未満		1	3	3	4	9	43	63
50歳以上～55歳未満		1	2	3	4	3	18	31
55歳以上～60歳未満	1	1	2	1		1	9	15
60歳以上～65歳未満				1			5	6
65歳以上							3	3
合 計	1	4	13	13	13	26	194	264

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和4年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満								0
20歳以上～25歳未満							4	4
25歳以上～30歳未満							7	7
30歳以上～35歳未満							19	19
35歳以上～40歳未満					1	2	18	21
40歳以上～45歳未満			1	1		5	14	21
45歳以上～50歳未満		2	3	2	4	5	14	30
50歳以上～55歳未満	1		2	3	1		5	12
55歳以上～60歳未満					1	1	2	4
60歳以上～65歳未満								0
65歳以上								0
合 計	1	2	6	6	7	13	83	118

(単位:人)

消防団員の報酬等

(1) 年 額 報 酬

令和4年4月1日現在

階級 内訳	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
支 給 額	206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

(単位:円)

(2) 出 動 報 酬

令和4年4月1日現在

区 分	支給単位	金 額
災 害 の 場 合	1 回 に つ き	4,000
警 戒 、 訓 練 等 の 場 合	1 回 に つ き	2,000
行 事 及 び 会 議 の 場 合	1 回 に つ き	1,000

※災害の場合の1回の従事時間が4時間を超える場合はその超過時間までごとに4,000円を加給する。(単位:円)

※災害の場合4時間以内に2回以上従事した場合は、1回とみなす。

(3) 費 用 弁 償

令和4年4月1日現在

住居等から団本部または分団車庫までの片道の距離	1回につき
2キロメートル以上4キロメートル未満	130
4キロメートル以上6キロメートル未満	160
6キロメートル以上8キロメートル未満	210
8キロメートル以上10キロメートル未満	270
10キロメートル以上	320

(単位:円)

(4) 退 職 報 償 金

令和4年4月1日現在

階級 勤続年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
5 年 以 上 1 0 年 未 満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000		200,000
1 0 年 以 上 1 5 年 未 満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000		264,000
1 5 年 以 上 2 0 年 未 満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000		334,000
2 0 年 以 上 2 5 年 未 満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000		409,000
2 5 年 以 上 3 0 年 未 満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000		519,000
3 0 年 以 上	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000		689,000

(単位:円)

分団別火災出場の状況

(1) 川越市消防団

令和3年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第 一 分 団	1	1		3	2						2		9
第 二 分 団	1	1		2	2						2		8
第 三 分 団	1	2		2	2				1		2		10
芳 野 分 団		1							2				3
古 谷 分 団	1							1	1		1		4
南古谷分団				1				1	1		1		4
高 階 分 団				2				1			1	2	6
福 原 分 団	1	1		1		1	2					2	8
大 東 分 団	1	2		5	1	2	1	1				4	17
山 田 分 団		1						1	3				5
名 細 分 団	1	2			3			1	2	2		2	13
霞ヶ関分団	1	2	3		2	1	1	1	1			3	15
合 計	8	13	3	16	12	4	4	7	11	2	9	13	102

出場延人員 496人

(単位:回)

(2) 川島町消防団

令和3年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第 一 分 団	1	1							2			2	6
第 二 分 団	1	1		1					2			2	7
第 三 分 団	1	1							2			1	5
第 四 分 団	1	2							2			2	7
第 五 分 団	1		1						2			2	6
第 六 分 団	1								2			2	5
合 計	6	5	1	1	0	0	0	0	12	0	0	11	36

出場延人員 204人

(単位:回)

分団車庫所在地

(1) 川越市消防団

令和4年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	小仙波町1-2-15	鉄筋コンクリート造2階建	174.56	91.80	H 7. 3.31
第 二 分 団	三光町2-8	鉄筋コンクリート造2階建	170.00	109.78	H11. 3.15
第 三 分 団	野田町1-3-8	鉄骨造2階建	319.17	104.52	H 3. 3.30
芳 野 分 団	大字鴨田9-1	鉄骨造平屋建	750.00	104.00	H17.3.25
古 谷 分 団	大字古谷上3831-1	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建	187.70	99.40	H 7. 3.31
南古谷分団	大字今泉307-2	木造平屋建	252.79	103.10	H19. 3. 1
高 階 分 団	大字藤間346-1	鉄骨造2階建	172.29	112.00	H16. 2.20
福 原 分 団	大字今福1785-5	鉄筋コンクリート造2階建	232.38	99.22	H25. 3.14
大 東 分 団	南大塚1-14-20	鉄骨造2階建	352.96	84.20	H元. 3.11
山 田 分 団	大字山田167	鉄骨造2階建	245.57	112.00	H15. 3.14
名 細 分 団	大字小堤644-3	鉄骨造平屋建	482.00	100.00	H20. 3.26
霞ヶ関分団	大字笠幡2365-1	鉄骨造平屋建	721.83	100.00	H18. 3.28

(2) 川島町消防団

令和4年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	大字吹塚737-1	鉄骨造平屋建	332.57	60.30	H 7. 2.27
第 二 分 団	大字伊草184	鉄骨造平屋建	172.97	52.03	H 4. 1.31
第 三 分 団	大字白井沼880	鉄骨造平屋建	306.00	89.43	H19. 3.15
第 四 分 団	大字上大屋敷144-1	鉄骨造2階建	140.95	85.66	H13. 3.28
第 五 分 団	大字畑中344-1	鉄骨造2階建	146.89	88.90	H15. 3.31
第 六 分 団	大字下小見野277-1	鉄骨造平屋建	299.86	89.43	H17. 2. 3

消防自動車性能

(1)川越市消防団

令和4年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	トヨタR1年	1,980	川越830て 119	—	R1.9.30
	スズキH26年	658	川越880あ 303	B-2	H26.12.25
第 一 分 団	いすゞH24年	2,990	川越800さ1318	A-2	H24.2.3
第 二 分 団	日野H24年	4,009	川越800さ1508	A-2	H24.12.17
第 三 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1946	A-2	H26.12.8
芳 野 分 団	日野H23年	4,009	川越800さ1101	A-2	H23.1.28
古 谷 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1768	A-2	H25.12.9
南古谷分団	三菱H20年	4,890	川越800さ 448	A-2	H20.1.31
高 階 分 団	いすゞH21年	2,990	川越800さ 681	A-2	H21.1.30
福 原 分 団	日野H28年	4,009	川越800さ2448	A-2	H28.12.7
大 東 分 団	日野H19年	4,009	川越830そ 119	A-2	H19.1.24
山 田 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1769	A-2	H25.12.9
名 細 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1947	A-2	H26.12.8
霞ヶ関分団	日野H18年	4,009	川越800さ 102	A-2	H18.3.9

(2)川島町消防団

令和4年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	三菱H21年	2,350	熊谷800す2124	—	H21.1.29
第 一 分 団	日野H22年	4,009	熊谷800す2676	A-2	H22.1.26
第 二 分 団	日野R2年	4,009	熊谷800す8375	A-2	R2.12.8
第 三 分 団	日野H23年	4,009	熊谷800す3189	A-2	H23.1.28
第 四 分 団	三菱H20年	4,890	熊谷800す1434	A-2	H20.1.31
第 五 分 団	日野H21年	4,009	熊谷800す2122	A-2	H21.1.30
第 六 分 団	日野H19年	4,009	熊谷800す 613	A-2	H19.1.24

※A-2 毎分2.0m³～2.8m³未満の放水ができるもの

※B-2 毎分1.0m³～1.5m³未満の放水ができるもの

川越市消防団専用無線設備の状況

令和4年4月1日現在

移 動 局	電波の種類	出 力	通信方式
32	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所 属	呼 出 名 称	備 考
団 本 部	かわごえだんほんぶ 1	可搬型
	※ かわごえだんしき 1	車両積載
	かわごえだんせきさい 1	車両積載
	※ かわごえだん 201	団長携帯
	※ かわごえだん 202	副団長携帯
	※ かわごえだん 203	副団長携帯
	※ かわごえだん 204	副団長携帯
	※ かわごえだん 205	副団長携帯
第 一 分 団	かわごえいちぶんだん 1	車両積載
	かわごえいちぶんだん 101	分団長携帯
第 二 分 団	かわごえにぶんだん 1	車両積載
	かわごえにぶんだん 101	分団長携帯
第 三 分 団	かわごえさんぶんだん 1	車両積載
	かわごえさんぶんだん 101	分団長携帯
芳 野 分 団	よしのぶんだん 1	車両積載
	よしのぶんだん 101	分団長携帯
古 谷 分 団	ふるやぶんだん 1	車両積載
	ふるやぶんだん 101	分団長携帯
南古谷分団	みなみふるやぶんだん 1	車両積載
	みなみふるやぶんだん 101	分団長携帯
高 階 分 団	たかしなぶんだん 1	車両積載
	たかしなぶんだん 101	分団長携帯
福 原 分 団	ふくはらぶんだん 1	車両積載
	ふくはらぶんだん 101	分団長携帯
大 東 分 団	だいとうぶんだん 1	車両積載
	だいとうぶんだん 101	分団長携帯
山 田 分 団	やまだぶんだん 1	車両積載
	やまだぶんだん 101	分団長携帯
名 細 分 団	なぐわしぶんだん 1	車両積載
	なぐわしぶんだん 101	分団長携帯
霞ヶ関分団	かすみがせきぶんだん 1	車両積載
	かすみがせきぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

川島町消防団専用無線設備の状況

令和4年4月1日現在

移 動 局	電波の種類	出 力	通信方式
18	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所 属	呼 出 名 称	備 考
団 本 部	かわじまだんほんぶ 1	可搬型
	かわじまだんほんぶ 2	可搬型
	※ かわじまだんしれい 1	車両積載
	※ かわじまだん 201	団長携帯
	※ かわじまだん 202	副団長携帯
	※ かわじまだん 203	副団長携帯
第 一 分 団	かわじまいちぶんだん 1	車両積載
	かわじまいちぶんだん 101	分団長携帯
第 二 分 団	かわじまにぶんだん 1	車両積載
	かわじまにぶんだん 101	分団長携帯
第 三 分 団	かわじまさんぶんだん 1	車両積載
	かわじまさんぶんだん 101	分団長携帯
第 四 分 団	かわじまよんぶんだん 1	車両積載
	かわじまよんぶんだん 101	分団長携帯
第 五 分 団	かわじまごぶんだん 1	車両積載
	かわじまごぶんだん 101	分団長携帯
第 六 分 団	かわじまろくぶんだん 1	車両積載
	かわじまろくぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

そ の 他

水防団員の編成（定員）

(1) 川越市水防団本部分団別定数

令和4年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	4	1	1	1	2	20	30
第 一 分 団			1	1	1	2	20	25
第 二 分 団			1	1	1	2	20	25
第 三 分 団			1	1	1	2	55 (35)	60
芳 野 分 団			1	1	1	2	101 (81)	106
古 谷 分 団			1	1	1	2	104 (84)	109
南古谷分団			1	1	1	2	120 (100)	125
高 階 分 団			1	1	1	2	59 (39)	64
福 原 分 団			1	1	1	2	20	25
大 東 分 団			1	1	1	2	59 (39)	64
山 田 分 団			1	1	1	2	113 (93)	118
名 細 分 団			1	1	1	2	126 (106)	131
霞ヶ関分団			1	1	1	2	120 (100)	125
合 計	1	4	13	13	13	26	937 (677)	1,007

※ 団員欄中（ ）内の数字は、消防団員以外の水防団員を示す。

(2) 川島町水防団本部分団別定数

令和4年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	2			1	1	10	15
第 一 分 団			1	1	1	2	14	19
第 二 分 団			1	1	1	2	14	19
第 三 分 団			1	1	1	2	14	19
第 四 分 団			1	1	1	2	14	19
第 五 分 団			1	1	1	2	14	19
第 六 分 団			1	1	1	2	14	19
合 計	1	2	6	6	7	13	94	129

水防倉庫所在地

(1) 川越市

令和4年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	面積(㎡)	建築年月日
小ヶ谷水防倉庫	川越市大字小ヶ谷546-1	木造平屋建	9.90	S52.11.30
上老袋水防倉庫	川越市大字上老袋447-1	木造平屋建	9.72	S30. 3.31
南古谷水防倉庫	川越市大字今泉307-2	鉄骨造平屋建	3.00	H19. 3. 1
池辺水防倉庫	川越市大字池辺323-2	鉄骨造平屋建	9.94	H10. 3.31
増形水防倉庫	川越市大字増形463-1	木造平屋建	33.05	S31. 3.31
寺山水防倉庫	川越市大字寺山543	木造平屋建	16.52	S26. 3.31
平塚水防倉庫	川越市大字平塚789-1	木造平屋建	33.05	S30. 3.31
小堤水防倉庫	川越市大字小堤289-14	鉄骨造平屋建	19.80	S43. 3.31
笠幡水防倉庫	川越市大字笠幡163-27	鉄骨造平屋建	19.80	S44. 3.31

(2) 川島町

令和4年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	面積(㎡)	建築年月日
上伊草水防倉庫	川島町大字上伊草941-1	鉄骨造、平屋建	33.00	S63. 9.30
伊草水防倉庫	川島町大字下伊草200	鉄骨造、平屋建	33.00	S63. 9.30
釘無水防倉庫	川島町大字釘無119	鉄骨造、平屋建	23.68	H 3. 3.28
曲師水防倉庫	川島町大字曲師469-2	鉄骨造、平屋建	23.04	H 2. 3.28
大屋敷水防倉庫	川島町大字上大屋敷245	鉄骨造、平屋建	23.04	S62.12.14
神明水防倉庫	川島町大字三保谷宿644	軽量鉄骨造、平屋建	33.12	H13. 8.10
鳥羽井水防倉庫	川島町大字鳥羽井375	鉄骨造、平屋建	33.12	S58.10.27
長楽水防倉庫	川島町大字長楽837-4	鉄骨造、平屋建	23.04	H 2. 3.28
梅ノ木水防倉庫	川島町大字上小見野2046-2~2049-3	鉄骨造、平屋建	23.68	H 3. 3.28
小見野水防倉庫	川島町大字下小見野277-1	プレハブ、平屋建	19.87	H 5.10. 1

自警消防隊の状況

川 越 市

令和4年4月1日現在

区域 隊数 等	第 三		芳 野		高 階		福 原		大 東		山 田		名 細		合計
	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	
1	小ヶ谷	17	北田島	26	藤間		下赤坂		豊田本	20	上寺山	9	下小坂		
2	今成	18	伊佐沼	16	新河岸	7	下松原		池辺	15	寺山	16			
3			鴨田1	17	砂	25	砂久保	9			福田	16			
4			鴨田2	14			中台	10			北山田				
5			鴨田3	8							南山田	13			
6			石田本郷	18							府川	6			
7			菅間中下	25											
8			菅間上	21											
9			鹿飼	14											
10			老袋	27											
隊数	2		10		3		4		2		6		1		28
人員計	35		186		32		19		35		60		0		367

消 防 年 報

令和4年6月刊行

発行 川越地区消防局 総務課

〒350-0823 埼玉県川越市神明町48番地4

電 話 (049) 222-0741

F A X (049) 226-7291

